Atlas System

White Paper

ATLAS SYSTEM · SMART CYCLE 2 · 19.10.2026

現在のアドレス

以下のSC2アドレスは本ホワイトペーパーの補足情報です。従来のSC1アドレスと技術説明は第1サイクルに適用されます。SC2の現行ルールと完全なレジストリは文書ライブラリで確認できます。

コントラクト	0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD87587E3
デプロイ用ウォレット	0x61726fbe5eC6b98d67dC4eA4B308FdFa0a18B424
上限管理	0xd587ba178010A34F7cFeEC6bd41D86eBEfAa11D3
会社手数料、6%	0x5F0411975A5500dBC465cceE16dEa1C7b93440f7
SC1補償基金、2%	0x12aB84172C31DCE819aD2cbfcCFAD39C2D3d497f
Position Manager	0x46a15b0b27311cedf172ab29e4f4766fbe7f4364
LP-NFT / tokenId	7682306
token	0x55d398326f99059ff7754852469990 27b3197955
lpFactory	0x0bfbcf9fa4f9c56b0f40a671ad40e0805a091865
lpPool	0x92b7807bf19b7dddf89b706143896d05228f3121

LP · BscScan ↗ · LP · PancakeSwap ↗ · Atlas System · Documents ↗

ブロックチェーンのスナップショット · 128510916
2026-10-19T07:03:19+00:00

目次

1. Executive summary. Atlas Systemの概要
2. Atlas Systemとは
3. Atlas Systemが生まれた理由：高利回りオンラインプロジェクト市場の課題
4. Atlas Systemが提供するもの
5. Atlasエコシステムの中核 — Smart Cycle 1
6. Smart Cycleのライフサイクル
7. パートナープログラム
8. Atlas System — 自発的な相互資金提供のためのプラットフォーム
9。ビジョン

1. エグゼクティブサマリー。Atlas System の概要

1.1 一般情報 (概要)

Atlas System は、自発的な相互融資のための国際的な Web3 エコシステムであり、Smart Cycle メカニズム、スマート コントラクト、パートナー プログラム、長期的な参加者コミュニティを中心に構築されています。

Atlas System は、銀行、預金、投資ファンド、商社、ICO、トークンセール、または収益が保証された商品ではありません。 Atlas は、ユーザーに固定の財務結果を約束するものではなく、あらかじめ定められた期間内に資金を返すことを約束するものではありません。

Atlas System の中心的なアイデアは、より正直でわかりやすい参加モデルを市場に提供することです。 Atlas System は、隠れた取引、外部投資、または閉鎖的な利益源に関するカバーストーリーの代わりに、そのメカニズムを直接説明しています。参加者は Smart Cycle を作成し、システム内の他の参加者に自発的にサポートを提供し、特定のサイクルのルールに基づいてサポートを要求する能力を獲得します。

Atlas System の主な特徴は、理解可能な経済メカニズム、検証可能な Web3 インフラストラクチャ、活発な国際コミュニティという 3 つのレベルを組み合わせていることにあります。参加者は、洗練されたプレゼンテーションだけでなく、ルール、パラメーター、制限、リスク、データ ソース、およびすべてを独自に検証する手段も確認する必要があります。

Atlas System は、不透明なオンライン プロジェクト、短期間の立ち上げ、大胆な約束、直接的な証拠の欠如にうんざりしている人々のために構築されています。システムはすべてのリスクを排除しようとするものではありません。その目標は、参加をより慎重なものにすることです。最初にメカニズムを説明し、次に計算されたシナリオを示し、制限を明らかにし、その後で初めて個人に決定を下す機会を与えます。

エコシステムの最初の製品コアは Smart Cycle 1 です。これは Atlas System の開始サイクルであり、参加者はこのサイクルを通じてシステムに入り、そのメカニズムを研究し、実際に動作しているルールを確認し、コミュニティの一員になることができます。同時に、各 Smart Cycle には独自のライフサイクルがあり、エコシステムは新しいサイクル、パートナー ツール、教育、ガバナンス メカニズム、その他の製品を通じて発展します。

1.2 財務的機会 (Smart Cycle 収益性の計算)

Smart Cycle の経済的機会は、計算された delta によって説明されます。これは、参加者が選択したサイクルで起こり得るシナリオを理解するのに役立つ指標ですが、保証された利益、固定収入、またはシステムの義務ではありません。

Atlas System には 2 種類の Smart Cycle があります。 1 つ目の種類は、選択した期間の終了時に、参加額に計算された delta を加えたものを返すサイクルです。 2 番目の種類は、参加期間全体を通じて毎日計算される発生額を伴うサイクルです。

最初のモデルは Lockup Flow と呼ばれます。参加者はプランを選択し、金額と期間を決定します。計算されたシナリオでは、計算された delta が参加額に追加額を加えたものとして、サイクルが完了する時点で表示されます。 2 番目のモデルは Daily Flow と呼ばれます。この中で、参加者は、見越額の日次計算ロジックと、全期間の全体的な計算シナリオを確認できます。

計画のラインナップと計算されたキャッシュ フローを簡単に説明すると、次のようになります。

Smart Cycleの種類	名称	期間	参加額	算定Delta	計算例（ガス前）
Lockup Flow	Contract test	10 分	10 USDT	0%	-
Lockup Flow	Launch	1 日	10 USDT	+0.3%	1,003 USDT
Lockup Flow	Momentum	5 日	10 USDT	+2%	1,020 USDT
Lockup Flow	Premiere	10 日	10 USDT	+5%	1,050 USDT
Lockup Flow	President	20 日	10 USDT	+12%	1,120 USDT
Lockup Flow	Imperium	30 日	10 USDT	+22.5%	1,225 USDT
Daily Flow	Core	200 日	10-2,000 USDT	1 日あたり 1.1%。 Delta +120%;合計 220%	1 日あたり 11 USDT総 2,200 USDT;ネット 2,080 USDT*
Daily Flow	Elite	200 日	2,000 USDT 以上	1 日あたり 1.3%。 Delta +160%;合計 260%	1 日あたり 26 USDT総 5,200 USDT;ネット 4,880 USDT*

Daily Flow の場合、プリンシパルと Delta を分離する必要があります。 Core: 220% 合計 = 100% 元本 + 120% Delta。 Elite: 260% 合計 = 100% 元金 + 160% Delta。 Platform Fee は Delta でのみ課金されます。ガス代は別途かかります。

Lockup Flow Imperiumの例：参加額1,000 USDTの場合、算定Deltaは225 USDT、Gross Claimは1,225 USDT、Platform Feeは22.5 USDT（Deltaの10%）、ガス代控除前のNet Claimは1,202.5 USDTです。これは算定シナリオであり、支払いを保証するものではありません。

参加の結果は、特定の Smart Cycle のルール、スマート コントラクトの状態、利用可能な流動性、参加者のアクティビティ、ネットワーク料金、ユーザーのアクションの正しさ、およびドキュメントで開示されているその他の要素によって異なります。サポート リクエストを満たすための条件が不十分な場合、参加者は期待した結果を受け取らないか、実行の遅延が発生する可能性があります。

これがまさに、Atlas System が経済的魅力と経済的保証を区別する理由です。システムは、計算された機会、サイクル テーブル、delta の例、および参加シナリオを表示できますが、そのようなすべての例には、明確な警告が伴う必要があります。つまり、結果は保証されず、参加は任意であり、決定はユーザーによって行われます。

このアプローチにより、メカニズムがより正直になります。参加者は潜在的な利益だけでなく、それが依存する条件も理解します。 Atlas System は、Smart Cycle が流動性の移動とコミュニティの活動を必要とするという事実を隠しません。計算される delta は、外部取引、会社の約束、奇跡的な利益から得られるものではなく、サイクルの規則とシステム内のさらなる動きから得られます。



1.3 パートナー プログラムの展望

Atlas System パートナー プログラム (Invite & Earn) は、参加者が人々を招待し、独自の構造を構築し、プログラムの公開されたルールに基づいてチームのアクティビティからパートナー報酬を受け取ることができるコミュニティ成長メカニズムです。

プログラムの最初の重要な条件: パートナー ボーナスは、全額 Smart Cycle ではなく、計算された追加の delta から計算されます。たとえば、招待された参加者が 100 USDT の計算 delta を使用して 22.5 USDT のサイクルを作成した場合、パートナーの割合は参加額ではなく、特にその delta に適用されます。

2 番目の重要な条件: 招待者は、ダウンライン パートナーのサイクルが完了するまで待つ必要はありません。パートナーが Smart Cycle を作成すると、システムは金額、期間、計算された将来 delta、および招待者のステータスを確認します。このデータに基づいて、パートナー プログラムの規則に従って紹介ボーナスが計算されます。 Lockup Flow の場合、ボーナスは Smart Cycle が作成された時点で 1 回発生します。 Daily Flow の場合、別のロジックが適用されます。ボーナスの一部はサイクルの作成時に発生し、残りの部分はサイクルの運用期間にわたって分配されます。

ステータス	個人アクティブボリューム	第1ライン	深層ボリューム	Deltaからのボーナス	マッチングボーナス
Start	10	不要	不要	15	—
Builder 1	50	100	不要	18	—
Builder 2	100	300	1.000	21	—
Builder 3	200	700	2.000	24	—
Builder 4	300	1.200	4.000	27	—
Builder 5	500	2.000	7.000	30	—
Builder 6	700	3.000	12.000	33	—
Builder 7	1.000	4.500	18.000	36	—
Master 1	1.500	7.000	28.000	38	5%
Master 2	2.000	10.000	40.000	40	7%
Master 3	3.000	17.000	70.000	42	9%
Master 4	4.000	25.000	120.000	44	11%
Master 5	5.000	35.000	200.000	46	13%
Master 6	6.000	45.000	300.000	48	15%
Master 7	7.000	60.000	450.000	50	17%
Strategist	8.000	80.000	600.000	52.5	19%
Ambassador	10.000	100.000	800.000	55	21%
Director	12.000	120.000	1.100.000	57.5	23%
Executive	15.000	150.000	1.500.000	60	25%

キャリア ラダーは、個人的な参加、最初のラインの開発、構造の深いボリュームの成長を通じて、参加者が Start から Executive にどのように成長できるかを示します。ビルダー レベルはパートナー プログラムのエントリー層であり、マスター レベルはより強力な構造を持つ参加者向けの上級レベルであり、Strategist、Ambassador、Director、および Executive は大規模で安定したチームに支えられた最高のステータスです。

Atlas System も圧縮メカニズムを使用します。これは、パートナーの実際のステータスとチームの発展への貢献に応じて、構造のアクティブなメンバーにパートナーの支払いが発生するために必要です。ダウンライン パートナーのパーセンテージが低い場合、アップライン パートナーは、自身のパーセンテージと下位ステータスのパーセンテージの差額を受け取ることがあります。ダウンライン パートナーが招待者にステータスで追いつくか追い越した場合、プログラムのルールに基づいて、ダウンライン パートナー自身がより高いパーセンテージを主張できます。このモデルの利点は、より公平であると考えられることです。より多くの収入を得るのは、単に上位に立つ人ではなく、構造をより強力に構築し、チームを発展させ、より高い地位に到達する人です。

ステータスの計算には、構造物の実際の体積だけでなく、深さを考慮した計算された体積も使用されます。 1〜5の線量は100%でカウントされ、6〜10の線量は50%でカウントされ、11以降の線量は10%でカウントされます。したがって、参加者が構造内でパートナーに近ければ近いほど、参加者のボリュームが資格の達成に強く影響します。

Atlas System パートナー構造はエコシステム全体で統一されています。一度招待された参加者はその構造に固定され、公開されたルールに基づいて将来の Atlas System 製品およびプログラムで考慮される可能性があります。パートナーは個人ダッシュボードで、最初の行、構造の深さ、現在のステータス、アクティビティの量、および獲得したパートナー報酬を確認できます。

長期的には、パートナー プログラムは市場の主な問題の 1 つを解決することを目的としています。つまり、個々の製品や Smart Cycle が終了してもリーダーがチームを失うことはありません。 Smart Cycle 1 がそのライフサイクルを通じて実行される場合、その構造は Atlas System 内に保存され、後続のサイクル、新製品、およびエコシステムのさらなる開発に使用できます。

同時に、パートナー プログラムは給与、不労所得、投資保証、または固定手数料の約束ではありません。報酬は、公開されたルール、参加者のステータス、構造のアクティビティ、データの正確性、技術的条件、システムの制限、および通信ルールの順守によって異なります。強力な Atlas System パートナーは、機会だけでなく、参加のリスクについても説明する必要があります。

このように、Atlas System は、Smart Cycle、Web3 の検証可能性、およびパートナー インフラストラクチャの計算されたメカニズムを単一のエコシステムに結合します。プロジェクトの意味は、単一のサイクルや単一の立ち上げに限定されるものではありません。参加者はルールを理解し、リーダーはチームを維持し、コミュニティはデジタル相互扶助のアイデアを中心に発展します。

2. Atlas Systemとは

2.1 Atlas System とは: Web3 分類とアーキテクチャ モデル

Atlas System は、DeFi コンポーネント、オンチェーン Smart Cycle メカニズム、および BNB Smart Chain 上に構築されたコミュニティ主導モデルを備えたハイブリッド Web3 dApp です。

この分類では、Atlas System を製品および技術的な観点から説明します。これは、システムの実際のアーキテクチャを、DeFi、DAO、完全な分散化といったより広範な概念から区別するのに役立ちます。

分類の概要

カテゴリ	Atlas System ステータス	説明
Web3 アプリケーション	はい	Web3 ウォレット、BNB Smart Chain、スマート コントラクトを使用します。
dApp	はい、ハイブリッド dApp	ユーザー操作と Smart Cycle ロジックの一部はオンチェーンで実行されます。
完全に分散化された dApp	いいえ	Backend コンポーネントと管理プロセスが存在します。
DeFi	部分的	スマートコントラクトを通じて実行される財務メカニズムが含まれています。
完全分散型 DeFi プロトコル	いいえ	一部の機能はオフチェーンのままであるか、承認されたオペレーターに依存しています。
DAO	いいえ	ガバナンスと主要なパラメータは分散型投票に完全に委任されていません。
コミュニティ主導のプラットフォーム	はい	コミュニティとパートナー ネットワークはエコシステムの開発に参加します。
建築	オンチェーン + オフチェーン	スマート コントラクトの実行とバックエンド インフラストラクチャを組み合わせます。

Atlas System が dApp である理由

Atlas は、ユーザーが Web3 ウォレットと BNB Smart Chain に展開された公的にアクセス可能なスマート コントラクトを介してシステムと対話するため、dApp カテゴリに分類されます。

- **ユーザーは自分の Web3 ウォレットに接続し、個別にトランザクションを確認します。**
- Smart Cycle **は、生産契約のロジックに従ってオンチェーン注文を作成します。**
- **アドレス、トランザクション、イベントはブロックチェーン エクスプローラーを通じて検証できます。**

Atlas System は、完全な分散型アプリケーションではなく、ハイブリッド dApp として正確に分類されます。スマート コントラクトはシステムの重要な部分ですが、すべての機能がオンチェーンのみで実行されるわけではありません。

2.2 DeFi コンポーネントとアーキテクチャの境界

Atlas に存在する DeFi コンポーネント

Atlas には DeFi コンポーネントが含まれています。デジタル資産を使用した選択された操作はスマート コントラクトを通じて実行され、ユーザーは独自の Web3 ウォレットとオンチェーン トランザクションを通じて対話します。

- 製品へのウォレットベースのアクセス。
- スマートコントラクトを介したデジタル資産との対話。
- Smart Cycle オーダーの作成。
- パラメータとステータスの契約に基づく記録。
- 契約でサポートされている場合、ユーザーが開始した Claim 操作。
- トランザクションと公開された本番アドレスの公的検証可能性。
- Smart Cycle アーキテクチャによって提供されるブロックチェーン流動性インフラストラクチャの使用。

Atlas が完全分散型 DeFi プロトコルではない理由

Atlas にはハイブリッド アーキテクチャがあります。オンチェーンの仕組みと並行して、オフチェーンの機能とチーム側の運用責任も保持します。

- パートナー構造と選択されたパートナー指標はバックエンドを通じて維持されます。
- バックエンドは契約イベントのインデックスを作成し、調整を実行します。
- パートナーへの支払いは、別の Transport プロセスを通じて開始される場合があります。
- 選択された技術的および管理的アクションは、認可されたオペレーターによって実行されます。

最も正確な分類は、DeFi コンポーネントを備えたハイブリッド Web3 dApp、または DeFi 隣接 Web3 アプリケーションです。

オンチェーンとオフチェーンの境界

オンチェーン	オフチェーン
Smart Cycle 制作契約	紹介ツリーとパートナー会計
ウォレットを介した注文の作成	イベントのインデックス作成と調整
契約小切手と Claim	分析とサービス機能
ブロックチェーンのイベントとトランザクション	選択したパートナーへの支払いの準備
パブリックアドレスと残高	コミュニティと運用サポート

バックエンドは、ユーザーのオンチェーン トランザクションを検証するためのソースとしてブロックチェーンを置き換えてはなりません。パートナー アカウンティングは別個のオフチェーンの信頼境界であり、ユーザー Smart Cycle Claim とは独立して考慮する必要があります。

2.3 管理権限と DAO ステータス

管理権限と信頼境界

スマート コントラクトの存在は、自動的に管理権限がないことを意味するわけではありません。特定の運用契約のコードに応じて、承認されたロールは、財務管理、料金設定、tokenId 設定、Transport プロセス、技術パラメータ、またはコードで規定されているその他の操作にアクセスできる場合があります。

実際の許可は、次の方法で制作契約ごとに個別に開示する必要があります。

- Contract Registry と公開されたアドレス。
- 検証済みのソースコード
- 所有者およびその他の管理上の役割の説明。
- プロキシとアップグレード可能性のステータス。
- 該当する場合、管理ポリシー、マルチシグ ポリシー、およびタイムロック ポリシー。
- 変更ログと Security Review の結果。

Atlas System が DAO ではない理由

Atlas System はコミュニティ主導のモデルを使用しており、DAO にインスピレーションを得たガバナンス メカニズムを選択された決定に適用する場合があります。ただし、コミュニティ、パートナー プログラム、または選択された投票メカニズムがあるからといって、システム全体が DAO になるわけではありません。

- 重要な技術的および運用上の決定は Atlas System チームに残ります。
- 財務管理は分散型投票に完全に委任されていない。
- アップグレードと管理プロセスは、DAO を通じて排他的に実行されるわけではありません。
- コミュニティ投票は、チームの技術的および製品的責任に代わるものではありません。

DAO にインスピレーションを得たメカニズムは、将来の Smart Cycles について議論し、開発の方向性を選択し、コミュニティの優先順位を決定し、選択された将来の取り組みに投票するために使用できます。既存の Smart Cycles の条件を遡及的に変更したり、すべての Atlas コンポーネントの制御をコミュニティに自動的に移行したりすることはできません。

Atlas System はコミュニティ主導の Web3 エコシステムであり、選択された DAO にインスピレーションを得たガバナンス メカニズムを使用する場合がありますが、Atlas System の現在のバージョンは完全に分散化された DAO ではありません。

2.4 最終分類

Atlas は、BNB Smart Chain 上のハイブリッド Web3 dApp であり、以下を組み合わせています。

- ユーザー向けの Web3 インターフェイス
- ユーザー自身のウォレットの接続
- オンチェーン Smart Cycle の仕組み
- DeFi コンポーネント
- 公的に検証可能なスマートコントラクト
- オフチェーンパートナープログラムインフラストラクチャ
- コミュニティ主導型モデル
- Atlas チームによる運用および技術管理

Atlas には DeFi コンポーネントがありますが、完全に分散型の DeFi プロトコルとして位置付けられていません。 Atlas はコミュニティと DAO からインスピレーションを得た仕組みを使用していますが、完全な DAO としては位置付けられていません。

Atlas は、DeFi コンポーネント、オンチェーン Smart Cycle メカニズム、および BNB Smart Chain 上に構築されたコミュニティ主導モデルを備えたハイブリッド Web3 dApp です。

詳細なアーキテクチャ、管理権限、および運用契約は、Atlas Contract Registry、Security Review、および別個の Atlas Web3 アーキテクチャおよび製品分類文書で開示されています。

このセクションは、Atlas の製品および技術分類を提供するものであり、独立した法的または規制上の意見ではありません。

2.5 Atlas クイック用語集

この White Paper を読むために必要な中心的な用語のみがここにリストされています。詳細な技術的定義は、関連するセクションに記載されています。

SMART CYCLE — **定義されたパラメーターと条件を使用した自発的サイクルのためのオンチェーン メカニズム。**

ORDER / ORDERID — **作成されたサイクルの記録とコントラクト内のその識別子。**

PRINCIPAL — **サイクルの作成時にユーザーが指定した参加額。**

CALCULATED DELTA — **条件付きで計算された元本を上回る差異。保証ではありません。**

GROSS CLAIM — **元本に、Platform Fee の前に計算された Delta を加えたもの。**

NET CLAIM — **Platform Fee 後の計算された量 (ガスを除く)。**

CLAIM — **条件が満たされた場合に利用可能な量を要求するユーザーアクション。**

DAILY FLOW V2 — **現在の 200 日のフローと日次計算量。**

PLATFORM FEE — **計算された Delta の 10%;元本は請求されません。**

TRANSPORT — **パートナーへの支払いを準備するサービスルート。**

DISTRIBUTE — **自身の USDT 残高から支払うパートナー支払い契約。**

SAFE — **主要な資産と権限を制御する 2/3 マルチシグ。**

LP-NFT — **PancakeSwap V3 の流動性ポジション。現在のトークン ID #6928212。**

CURRENT / LEGACY — **アクティブなコントラクト / 古い操作の以前のバージョン。**

これらの用語は、計算された技術モデルを説明します。 Delta または Claim が保証された支払いに変わるわけではありません。

3. Atlas System はなぜ出現したのでしょうか?高利回りオンラインプロジェクト市場の問題点

3.1 問題番号 1。オンラインプロジェクトにおける信頼の危機

高収益のオンライン プロジェクトの市場は、信頼の深刻な危機に直面しています。プロジェクトの寿命は短くなり、立ち上げはより頻繁になり、約束は大きくなり、実際の証拠、透明なメカニズム、明確なルールが欠けていることがよくあります。参加者は、プロジェクトの実際のアーキテクチャよりも外部のイメージが強く見える状況にますます陥っています。

近年、この市場はネガティブなシナリオが繰り返される状況にあります。国や言語が異なれば、状況は似ていることがよくあります。つまり、新しい会社の出現、強力な講演者、高価なイメージ、自信に満ちたプレゼンテーション、法的手段、取引、資金、投資、または市場の状況に関係なく利益を生み出すと思われるその他のメカニズムに関する主張です。

しかし実際には、そのような物語には持続可能な経済モデルが背後にないことがよくあります。この資金は申告された事業で機能せず、独立した外部収入も生み出しておらず、明確で検証可能な論理によって確認されていませんでした。新たな人々の流入が枯渇し始めるまで、資金は単に参加者間で再分配された。

多くのプロジェクトでは、参加者には Web サイト、個人ダッシュボード、公開イベント、ドキュメント、支払い、レポート、アクティブなチャット、メディア関係者、成功事例、プレゼンテーション、合法性の主張などの強力な外部イメージが表示されます。これらすべてが、彼らが信頼できる企業、投資商品、トレーディングビジネス、ファンド、テクノロジープラットフォーム、または明確な義務を伴う金融サービスを扱っているという印象を生み出します。

しかし、重要な問題は多くの場合、より深いところにあります。プロジェクトの外観イメージは実際のメカニズムと一致しない場合があります。人が意思決定をするのは、モデル、支払い源、リスク、制限、完成条件を真に理解しているからではなく、作られた信頼性のイメージを信じているからです。

このようなプロジェクトが運営を停止したり、支払いを遅らせたり、ルールを変更したり、閉鎖したりすると、人は単にお金を失ったと感じるだけではありません。彼らは、異なる性質の製品、異なる保護レベル、主催者側の異なる責任を期待していたので、だまされたと感じています。彼らはモデルの実際のルールではなく、プロジェクトを中心に作成されたイメージを信じていました。

このようにして、個々のプロジェクトだけでなく、市場全体に対しても不信感が生まれます。テクノロジー、オープンなルール、検証可能なアーキテクチャを備えた新しいモデルが登場したとしても、参加者はすでに過去の失望の経験を通してそれを見つめています。彼らは「いくらもらえるか」だけでなく、何よりも、実際に何が起こっているのか、検証できるのか、期待が満たされなかった場合はどうなるのかを尋ねます。

信頼の危機はいくつかの層で構成されています。

- プロジェクトの実際の仕組みの不透明さ
- 資金の移動を確認できない
- 参加者が管理者の手動決定に依存している
- クローズドな財務モデル
- プロジェクトのイメージと実際の仕組みとのギャップ
- ルールの理解ではなく、マーケティングによって形成された期待が膨らむ
- 計算結果がなぜ現れるのか、またどのような条件下ではその結果が実現できないのかについての直接的な説明がないこと。

利益を保証するという文言は、特に信頼に大きなダメージを与えます。ユーザーが安定した収益、不労所得、取引利益、信頼できる資金、または保証された収益について説明されても、実際のモデルが開示されていない場合、参加者は間違った基準枠に陥ることになります。彼らは、たとえ実際のリスクがかなり高いとしても、参加は保護された金融商品であると認識しています。

誤った安心感から別の問題が発生します。参加者が法的文書、講演者、大規模なイベント、高価なデザイン、活発なコミュニティを見ると、プロジェクトは精査され、信頼でき、管理下にあると結論付けることがよくあります。しかし、外部規模自体は、モデルの持続可能性、実際の支払い源の存在、または参加者の期待に応えるプロジェクトの能力を証明するものではありません。

信頼性を大胆に保証した後にプロジェクトが崩壊した場合、その影響は特に深刻になります。参加者は単にお金を失うだけではありません。彼らは、神話、プレゼンテーション、約束、リーダーの地位、公的証拠、そして自信に満ちた雰囲気など、プロジェクトのパッケージ全体によって誤解されていると感じています。その後、不信感は主催者だけでなく、オンラインプロジェクト全体に広がります。

このような崩壊が起きるたびに、市場には焦土が残されます。閉鎖されたウェブサイト、消えたチャット、調査、申し立て、崩壊したチーム、そしてもはや強力なアイデアさえ信じようとしない参加者などです。大規模なリーダーからなる少数のグループが何とか利益を得ることができることもありますが、聴衆のほとんどはお金、信頼、そしてさらに別のプロジェクトをもう一度検討する意欲を失うことがよくあります。

近年、このプロセスは加速しています。かつては何年も存続できた企業が、今では数カ月しか存続しない企業が増えています。これはもはや個々の弱いプロジェクトの問題のようには見えません。これはアプローチ自体の危機のように見えます。古いフォーマットはもはや信頼を保てず、市場向けの新しい理解可能なモデルはまだ標準になっていません。

その結果、市場は有害な状態に陥っています。人々はチャンスを求めていますが、プレゼンテーションを信じなくなっています。彼らは美しい数字を見ますが、欺瞞を疑っています。彼らはテクノロジー、合法性、コミュニティに関する言葉を耳にしますが、同様の言葉が不透明なルールを隠し、期待を打ち砕いた過去のプロジェクトを思い出します。

3.2 問題番号 2。リーダーシップ資本の喪失

市場の 2 番目の大きな問題は、お金だけではなく、チームの喪失にも関係しています。収益の高いオンラインプロジェクトでは、強力なリーダーが単独で行動することはほとんどありません。彼らは、チーム内に構造、個人的な評判、人々の信頼、ローカルチャット、トレーニング資料、ウェビナー、積極的なヘルパー、その他のリーダーをもたらします。

チームが単一の一時的なプロジェクトのみを中心に構築されている限り、リーダーシップの資本は非常に脆弱なままです。それはリーダーの力やコミュニティの質ではなく、次のプラットフォームがどれだけ長く存続するかによって決まります。プラットフォームが終了すると、リーダーがその存在を通じて築き上げた構造も同時に終了することがよくあります。

しかし、ほとんどの高収量プロジェクトでは、この作業は単一の短いライフサイクルに結び付けられます。プロジェクトが成長する一方で、チームは活発に見えます。新しい参加者が現れ、チャットが活発になり、リーダーが会議を開き、構造が拡大します。しかし、プロジェクトが停止したり、支払いが遅れたり、視聴者の興味を失ったりするとすぐに、この構造全体が崩壊し始めます。

リーダーを通して参加した参加者は、プロジェクトと参加者を招待した人の責任を分離していないことがよくあります。彼らにとって、プロジェクトの顔となるのはリーダーです。人々がお金を失ったら、彼らは不満を持ってリーダーのところに戻ってきます：なぜ私たちを連れてきたのか、なぜそれを信じたのか、なぜ警告しなかったのか、私たちがお金を失ったのはあなたのせいです。

その結果、リーダーは現在の収入を失うだけでなく。彼らは信頼、評判、チームの一員、そして次の機会について自信を持って話せる立場を失います。たとえ彼ら自身がプロジェクトを運営せず、財務を管理せず、ルールを作成せず、行政の決定を下さなかったとしても、彼らの信頼に打撃を与えるのは彼らです。

プロジェクトが停止した後、リーダーは困難な状況に陥っていることに気づきます。新しいプロジェクトを探し、条件を改めて検討し、新しいプレゼンテーションを準備し、再び人々を説得し、再び疑問に対処し、再び構造を組み立てなければなりません。一方で、元チームの一部はすでに失望しており、一部は他のリーダーの元に行き、一部はもはやオファーを信じず、一部は過去の敗北について公然とリーダーを責めている。

このようにして、悪循環が形成されます。新しいプロジェクト、新しいプレゼンテーション、新しいダッシュボード、新しいチーム、新しい成長期間、そして再び構造が破壊されるリスクです。このシナリオが繰り返されるほど、リーダーが信頼を維持することが難しくなり、チームが次の機会を真剣に受け止めることが難しくなります。

MLM の起業家にとって、これは最も苦痛な問題の 1 つです。チームはリーダーの主な資産ですが、古いモデルでは、この資産は新しいプロジェクトが発生するたびに常にゼロにリセットされます。リーダーは、数百人または数千人の組織を構築し、強力なパートナーを育て、内部コミュニケーションを確立した後、チーム全体が依存していたプラットフォームがシャットダウンしたために、その仕事の重要な部分を失う可能性があります。

まさにこれが、市場が経済的損失だけでなく、コミュニティの絶え間ない破壊にうんざりしている理由なのです。人々はプロジェクトからプロジェクトへと移動することに飽きてしまいます。リーダーはゼロから始めることに飽きてしまいます。チームは、毎回最初から信じたり、最初から登録したり、最初から学習したり、他人のシャットダウンの結果を何度も経験したりすることにうんざりしてしまいます。

そんなチームは数日で現れるものではありません。リーダーは、アイデアを説明し、質問に答え、新人を訓練し、参加者をサポートし、グループ間のコミュニケーションを構築し、弱いパートナーがより強くなるのを助け、そして徐々に自分の周りに生きたコミュニティを形成するなど、数カ月または数年かけてそれを組み立てます。

4. Atlas System は何を提供しますか?

4.1 問題番号の解決策 1

信頼の危機に対する Atlas System の答えは、さらなる美しい伝説を中心とするのではなく、システムが実際に何であるかをオープンに説明することを中心に構築されています。 Atlas System は、プレゼンテーションだけ、リーダーとしての地位、Web3 に関する大げさな言葉、そして信頼性の外部イメージによって人を説得すべきではありません。参加者はまずメカニズムを理解し、計算されたシナリオを確認し、制限を検討してから、独自の決定を下す必要があります。

Atlas System は正直なフレームを提供します。これは銀行でも、預金でも、投資ファンドでも、商社でも、収入が保証された商品でもありません。 Atlas System は自発的な相互融資の Web3 エコシステムであり、参加者は Smart Cycle、スマート コントラクト、インターフェイス、公開ドキュメント、パートナー インフラストラクチャを通じて対話します。

Atlas System では、隠れた取引、資金、外部ビジネス、または抽象的な利益に関する話の代わりに、理解できるメカニズムに重点を置いています。参加者には、Smart Cycle とは何か、計算された delta がどのように形成されるか、どのような条件が Claim に影響するか、結果が保証されない理由、流動性がどのような役割を果たすか、どの操作が検証可能か、および操作管理のゾーンがどこに残るのかが説明されます。

このアプローチは、不透明さにうんざりしている市場にとって重要です。参加者がダッシュボードに美しい数字だけを表示していても、その数字がどこから来たのか、どのような条件で達成できるのかを理解していない場合、信頼は弱いままです。 Atlas System は、このモデルをより直接的なモデルに置き換えようとしています。最初にルール、次に計算された例、次にリスクに関する警告、そしてユーザーのアクションです。

信頼の問題を解決するための重要な要素:

- Smart Cycle メカニズムの公開説明
- 計算された機会と保証された結果の分離
- 銀行、預金、ファンド、トレーディング収入の枠組みの拒否
- 参加前のリスク開示
- システムのオンチェーン部分とオフチェーン部分の説明
- スマートコントラクトの使用と該当する場合の公的検証
- 口頭での約束やマーケティング資料よりも優先される単一の文書セット

Atlas System は、スマート コントラクトの存在によってすべてのリスクが自動的に除去されるとは主張しません。スマート コントラクトは、システムを完全にリスクフリーにするものではなく、流動性を保証せず、ユーザーのエラーから保護せず、ルールを検討する必要性を排除するものでもありません。しかし、操作の一部をより検証しやすくし、参加者が言葉だけに依存することを減らすことができます。

これがまさに、Atlas System で重要なのはテクノロジーだけではなく、記述の誠実さである理由です。パートナーロジックの一部がオフチェーンで計算される場合は、そのことを明記する必要があります。システムに管理機能が存在する場合は、それを公開する必要があります。結果がシステム内の動きに依存する場合、それをわかりやすい言葉で説明する必要があります。このような直接性によって自動的に参加が安全になるわけではありませんが、参加者の決定がより慎重になります。

このようにして、Atlas System は、新しく捏造された物語ではなく、高リスクのオンライン モデルについて、従来の金融商品として偽装することなく、収益保証を約束することなく、利益源を発明することなく、重要な制限を隠すことなく、より透明性の高い方法で語る方法を市場に提供します。

4.2 問題番号の解決策 2

リーダーシップ資本の喪失に対する Atlas System の答えは、シンプルだが重要なアイデアに関連しています。Atlas System は、永遠に機能するか消滅する単一の孤立したプロジェクトとして認識されるべきではありません。 Atlas System は、連続する Smart Cycles のエコシステムとして構築されます。 Smart Cycle 1 が最初のステージ、Smart Cycle 2 が次のステージとなり、Smart Cycle 3、Smart Cycle 4 とその他のバージョンが表示されます。

古いモデルでは、プロジェクトの中止は通常、欺瞞であり、すべての物語の終わりであると認識されます。人々は、この会社は長期間運営されるだろう、どこかでお金が稼がれているだろう、このモデルは信頼できる、リスクは最小限だと言われていました。そのようなプロジェクトが中止されると、参加者はだまされたと感じ、リーダーはチームの信頼を失いました。

Atlas System は別のフレームを提供しています。参加者には、特定の Smart Cycle にはライフサイクルが制限されていることが事前に警告されます。起動、成長、活動期間を経て、減速し、終了する可能性があります。これは隠れた欠陥ではなく、モデルの正直な説明の一部です。人は、自発的な相互融資の再分配システムに参加していることを事前に理解しています。その結果は、サイクルのルール、流動性、参加者の活動、および選択した戦略に依存します。

したがって、Smart Cycle 1 の完了は Atlas System の終了を意味するものではありません。これは、最初のサイクルがその役割を果たしたことを意味します。市場に最初の製品を提供し、データを収集し、参加者の行動を示し、メカニズムの長所と短所を明らかにし、次のバージョンの基礎を準備しました。このロジックでは、Smart Cycle 2 はランダムな置き換えではなく、Atlas System 開発の次のレベルです。

参加者にとって、これは参加の心理を変えます。サイクルが有限であること、保証がないこと、遅れて参入するとリスクが高まることを事前に知っていた場合、彼らはサイクルの完了を予期せぬ裏切りとは認識しません。この結果には動揺しているかもしれないが、ロジック自体はエントリー前に明らかにされていた。彼らは、次のサイクルを研究したり、新しいパラメータを比較したり、別の金額、別の期間、別の戦略を選択したり、参加を辞退したりする機会を保持します。

リーダーにとって、これはさらに重要です。彼らのチームは、単一の製品とともに毎回破壊されるべきではありません。 Smart Cycle 1 が終了した場合、リーダーは絶対ゼロから開始する必要はありません。彼らは、従業員、組織、訓練を受けたパートナー、ローカル チャット、プレゼンテーションの経験、信頼、資料、ウェビナー、および Atlas System ルールの理解を維持します。このリーダーシップの資本は、Smart Cycle 2 とその後のエコシステムの段階にスムーズに引き継がれます。

一部の参加者が Smart Cycle 1 で否定的な結果を受け取った場合、これを Smart Cycle 2 での自動補償の約束として提示するべきではありません。しかし、エコシステム モデルでは、次のサイクルを研究し、更新されたパラメーターを評価し、リスクを調整し、より早くまたはより慎重にエントリーし、前の段階の経験を利用し、新しいバージョンのシステムで結果を改善しようとするという、新たな意図的な選択が得られる可能性があります。

リーダーシップ資本の喪失の問題を解決するための重要な要素:

- Atlas System は単一の Smart Cycle よりも広いです
- 各サイクルは有限の製品段階として事前に記述されます
- Smart Cycle 1 の完了は Smart Cycle 2 などへの移行であり、システム全体が終了するわけではありません。
- 参加者は、モデルの再分配的な性質と保証がないことを事前に理解しています。
- リーダーシップの構造、トレーニング、コミュニケーションはサイクル間で維持されます。
- 新しいサイクルでは、以前のバージョンの経験を考慮に入れることができます
- 参加者は、サイクルの完了を予期せぬ欺瞞として扱うのではなく、新しい戦略を選択できます。
- パートナー プログラム、ドキュメント、ウェビナー、ナレッジ ベースにより、チームは単一のエコシステム内で作業を続けることができます。

このようなモデルでは、パートナー プログラムは単なる採用メカニズムではありません。それはコミュニティを維持し、発展させるためのインフラになります。その任務は、参加者がルールを理解し、インターフェイスに一人で放置されず、リスクを検討し、ウォレットを正しく使用し、操作を検証し、計算されたシナリオと保証を区別できるように支援することです。

Atlas System は単一の公開フレームを通じてリーダーの負担も軽減します。リーダーは自分でシステムの説明を考え出したり、ルールにないことを約束したりする必要はありません。システムを説明するときに参照する White Paper、Smart Cycle ルール、FAQ、リスク開示、Transparency Center、およびその他の公式資料が必要です。

これは、正しいコミュニケーションに対するリーダーの責任を軽減するものではありません。それどころか、Atlas System を推奨するには責任あるアプローチが必要です。他の人を招待する参加者は、機会だけでなく制限についても説明する必要があります。しかし、ルールが公開され、リスクに名前が付けられ、メカニズムが誰にとっても同じように説明されれば、コミュニケーションはより誠実で持続可能なものになります。

Atlas System は長期的には、コミュニティが前進し続けながら、1 つのサイクルが終了できる環境になることを目指しています。 Smart Cycle 1 は終了し、Smart Cycle 2 は新しいアーキテクチャを提供する可能性がありますが、蓄積された経験、つながり、リーダーシップ資本、参加者の経験は Atlas System 内に残ります。これがまさにエコシステムと 1 回限りのプロジェクトの違いです。サイクルは終了しますが、Atlas System は次のレベルに移行します。

5. Atlas エコシステムの Core — Smart Cycle 1

5.1 Smart Cycle とは

Smart Cycle は、Atlas System のプログラム可能な相互扶助サイクルです。簡単に言うと、参加者はサイクルの条件を選択し、システムにサポートを提供し、オンチェーンの注文を受け取り、サイクルの条件が満たされた後、Claim を開始できます。提供されたサポートを、可能な計算された delta とともに要求します。

Smart Cycle の財務ロジックは 3 つのアクションを中心に構築されています。参加者はサイクルを作成し、システムはそのパラメータをスマート コントラクトに記録し、参加者は選択したフローのルールに従って行動します。条件が満たされ、Claim が利用可能な場合、参加者はリクエストを送信して、そのサイクルで計算された金額を受け取ることができます。

技術的には、Smart Cycle は相互接続された一連のスマート コントラクトを通じて動作します。金額、選択したモード、期間、計算された delta 、手数料、注文ステータス、Claim 条件、アクションの履歴が記録されます。その結果、参加者はウェブサイト上の約束だけでなく、事前に公開されたルールを備えた検証可能なオンチェーンメカニズムを見ることになります。

Smart Cycle は銀行預金、預金口座、投資商品、または固定収益の保証ではないことを理解することが重要です。それは自発的な相互融資のデジタルサイクルです。 Claim の可能性と結果は、選択したサイクルのパラメータ、利用可能な流動性、スマート コントラクトの状態、ネットワーク、インフラストラクチャ、およびユーザー自身のアクションによって異なります。

Smart Cycle 1 は、Atlas System 内のこの一般的なメカニズムの最初のバージョンです。したがって、このセクションでは、Smart Cycle 1 を、独自のパラメータ、フロー、アドレス、役割、制限事項、Claim シナリオ、および検証ルールを含む特定の製品および技術範囲として説明します。

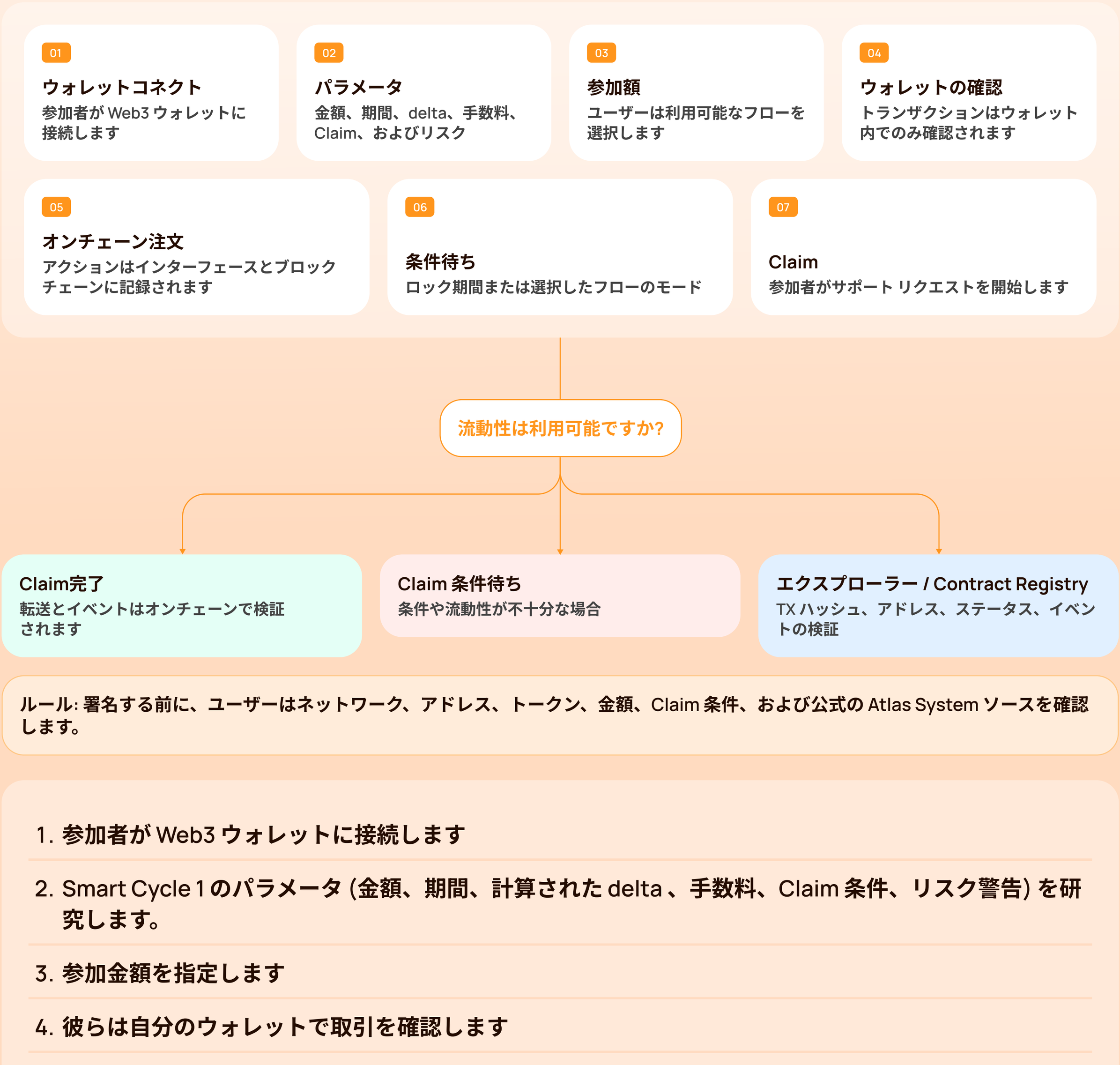


5.2 Smart Cycle 1 のパラメータ、ネットワーク、およびアドレス

パラメータ	値	コメント
プロダクトコア	Smart Cycle 1	Atlas System の最初の製品サイクル
ネットワーク	BNB Smart Chain	BNB Smart Chain、チェーン ID 56
決済トークン	USDT BEP-20	Smart Cycle 1 への参加と決済のトークン
USDT 契約	0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955	BNB Smart Chain ネットワーク上の USDT BEP-20 契約
最低参加金額	10 USDT	Smart Cycle を作成するための最小量
Distribute (Current)	0xEF156690b98AEc4F805Ec820268B9092bd83B76f	パートナーは自身の USDT 残高から支払います。LP-NFT にアクセスできません
プラットフォーム料金	10%	Smart Cycle から受け取った delta およびパートナー プログラムに基づいて受け取ったボーナスに対するプラットフォームの手数料
ベースプール	0x92b7807bF19b7DDdf89b706143896d05228f3121	PancakeSwap V3 USDT/USDC;料金段階 0.01%
SAFE / LP 所有者	0xB0E4699710f98BB13fDaAB887a5D821eDb5DB559	SAFE 2-of-3; Atlas LP-NFT #6928212 の所有者
ポジションマネージャー	0x46A15B0b27311cedF172AB29E4f4766fbE7F4364	PancakeSwap V3 代替不可能なポジション マネージャー
Lockup Flow (Current)	0x8F6daC6F25A5038112E1A01f1cBBD682e4D64889	確認済みの生産契約
Daily Flow V2 (Current)	0x8e61483d45a822cCB59482c47e1b6D28465605EC	Daily Flow V1 は Legacy ステータスで保持されます
Transport (Current)	0x5a71807861dBFc41aB016271C3191bF96322D42e	パートナーの金額を LP から引き出し、Distribute にルーティングします。

5.3 Smart Cycle 1 内のユーザー ジャーニー

以下のフローチャートは、Smart Cycle 1 内の参加者の基本的な行程を示しています。ウォレットの接続とパラメーターの調査から、オンチェーン注文の作成、条件 Claim の待機、公式エクスプローラーによる結果の検証までです。



ルール: 署名する前に、ユーザーはネットワーク、アドレス、トークン、金額、Claim 条件、および公式の Atlas System ソースを確認します。

1. **参加者が Web3 ウォレットに接続します**
2. **Smart Cycle 1 のパラメータ (金額、期間、計算された delta 、手数料、Claim 条件、リスク警告) を研究します。**
3. **参加金額を指定します**
4. **彼らは自分のウォレットで取引を確認します**
5. **アクションはインターフェースに記録され、該当する場合はブロックチェーンにも記録されます。**
6. **参加者はロック期間が終了するのを待ちます**
7. **サイクルの条件が満たされた後、参加者は Claim を送信できます。**
8. **Claim の実行は、Smart Cycle 1 のルール、利用可能な流動性、インフラストラクチャの状態、およびユーザーのアクションの正確さに依存します。**
9. **ユーザーは、公式ブロックチェーン エクスプローラーを通じてトランザクションと関連操作を確認できます。**

5.4 Smart Cycle 1 の経済学

Smart Cycle 1 の経済学は、最初のサイクル内で、入ってくるサポート、ロック期間、計算された delta、計算された Claim、platform fee、およびパートナーの支払い負担がどのように解釈されるかを示します。このサブセクションは保証された結果を約束するものではありません。その任務は、計算されたモデルを平易で検証可能な言葉で説明することです。

経済パラメータ	値	説明
サポートが入ってくる	1,000 USDT	**参加者が Web3 ウォレットを通じて自発的に Smart Cycle 1 に振り込んだ金額**
ロック期間	30 日	**サイクルのルールに基づいて、Claim の可能性が生じるまでの期間**
算定Delta	22.5%	**30 日サイクルの計算されたシナリオ。結果を保証するものではありません**
Gross Claim	1,225 USDT	Gross Claim = 1,000 USDT 元本 + 計算された Delta の 225 USDT。これは、Platform Fee が差し引かれる前、ガスが発生する前の金額です。
Platform Fee	22.5 USDT	Delta の 10% のみ: 225 × 10% = 22.5 USDT。本人は手数料の対象外です。

1,000 USDT のプリンシパルの場合、計算された Delta は 225 USDT、Gross Claim は 1,225 USDT、Platform Fee は 22.5 USDT、ガス前の Net Claim は 1,202.5 USDT です。これは計算モデルを示すものであり、実行や支払い期限を保証するものではありません。

5.4.1 Daily Flow Core 計算

1,000 日間の 200 USDT 参加量の計算モデル。実際の結果はサイクル条件と利用可能な流動性によって異なります。

入力パラメータ

1,000 USDT · 200 日

Core: 1 日あたりの 1.1% の計算値。

1日分の計算

11 USDT

1,000 × 1.1% = 11 USDT.

200-日の計算

2,200 USDT 総額

11 × 200 = 2,200。プリンシパル 1,000 + Delta 1,200 が含まれます。

Platform Fee とネット

120 → 2,080 USDT

料金: 1,200 × 10% = 120。正味: 2,200 − 120 = 2,080 (ガス前)。

1,000 元本 + 1,200 Delta − 120 Platform Fee = 2,080 USDT

ガス代は別途かかります。パートナー アカウンティングでは、ユーザー Claim の計算は変更されません。

重要: 1 日あたりの 11 USDT は計算された量です。実際の Claim の可用性は、契約条件と現在の流動性によって異なります。

5.5 コントラクト マップ: Smart Cycle 1 コアの構成

契約マップは、どの技術コンポーネントが Smart Cycle 1 に属し、それらがどのような役割を実行するかを示します。このブロックは、ユーザー契約がどこにあるのか、流動性レイヤーがどこにあるのか、インターフェイスの ABI がどこにあるのか、パートナーの見越額用の別個の Transport レイヤーがどこにあるのかなど、アーキテクチャの透過的な検証に必要です。

コンポーネント	ファイル / レイヤー	目的	利用者
Lockup Flow	LockupFlow.sol / ILockupFlow.sol	ロックアップ製品フロー: ユーザーは注文を作成し、ロック期間後に Claim を開始できます。	Frontend、ユーザーウォレット、バックエンドインデクサー
Daily Flow V2 · Current	DailyFlowV2.sol / IDailyFlowV2.sol	Current 日々の製品の流れ。DailyFlow V1 は、アクティブなサイクルと履歴に対して Legacy ステータスとともに保持されます。	Frontend、ユーザーウォレット、バックエンドインデクサー
Transport → Distribute	Transport.sol / Distrib.sol + インターフェース	Transport は LP からパートナー金額を受け取ります。 Distribute は、パートナーへの純支払いと、自身の残高から Treasury への手数料を実行します。	Backend / 所有者; Distribute 経由で支払い
Position Handler	PositionHandler.sol	PancakeSwap V3 との共有コントラクト層: 入金/出金の流動性と tokenId との相互作用	Lockup Flow、Daily Flow V1/V2、Trans
パンケーキインターフェイス	インターフェース/*	PancakeSwap V3 プール、ファクトリ、およびポジション マネージャーのインターフェイス	Position Handler
数学ライブラリ	ライブラリ/*	流動性、ティック、および完全精度の計算の計算	Position Handler
ABI	abi/LockupFlow.json、DailyFlowV2.json、Transport.json、Distrib.json	フロントエンド、バックエンド、監査ツールのコントラクト インターフェイス。	Frontend、バックエンド、監査ツール

5.6 Claim と流動性のフローチャート

この図は、ユーザーのサポート リクエストがインターフェイス、ウォレット、条件の検証、流動性の可用性をどのように通過するかを示しています。ユーザー Claim、パートナーによる発生 Transport、および結果の独立した検証を区別することが重要です。

図1。 Smart Cycle の作成

01
ユーザー
Smart Cycle のフロー、量、期間を選択します。

02
Frontend
金額、料金、ネットワーク、警告を表示します

03
財布
参加者自身がトランザクションに署名します

04
ロックアップ / デイリー
契約はフローのルールに従って注文を作成します

05
Position Handler
資金を流動性層に送ります

06
パンケーキ V3
共有流動性ポジションが更新されました

07
イベント
ロック済み/作成済みの順序はエクスプローラーで利用可能です

08
ダッシュボード
バックエンドはサイクルをインデックス化して表示します

重要なアイデア: ユーザー自身がアクションに署名し、一次検証はオンチェーン イベントと Contract Registry を介して行われます。

図2。 Claim 条件が満たされた後

01
サイクル条件
期間が終了したか、利用可能な日次部分が出現しました

02
Frontend
Claim、量、ガス、ネットワーク、警告を表示します

03
ウォレットの署名
参加者自身がウォレット内の Claim を確認します

04
Flow.claim (orderid)
所有者、注文、時間、報酬、請求されていない、および制限を確認します

条件は満たされていますか？

いいえ

はい

流動性は利用可能ですか?

いいえ

はい

Claim拒否
条件がまだ満たされていない、または契約が拒否を返した

待機・説明
条件がない、または流動性がない - Claim は予期された瞬間に実行されません。ユーザーはインターフェイスと公式チャネルで明確なステータスを必要としています

移動＋イベント
Position Handler 引き出し、ユーザーへの転送、手数料、および請求されたイベント

Claim は、サイクルのルールに基づくサポート リクエストです。約定は注文の条件と利用可能な流動性によって異なります

図3。パートナーへの支払い: Transport → Distribute

01

紹介イベント

ダウンライン参加者が Smart Cycle を作成します

02

Backend 会計

ステータス、レベル、圧縮、制限の計算

03

権限のある役割

承認されたアドレスが支払いを開始します

04

Transport → Distribute

Transport はパートナーの金額を LP から引き出し、手数料を徴収せずに Distribute を補充します

パートナーウォレット

Distribute は、自身の USDT 残高から純報酬をパートナーに支払います

プラットフォーム料金

Distribute は、パートナー報酬の 10% を Treasury にルーティングします。

エクスプローラーの記録

トランザクション、アドレス、金額、イベントを個別に検証できます。

重要: Transport はパートナーに直接支払いを行いません。現在のルートは Transport → Distribute → パートナー + Treasury です。 Distribute は LP-NFT にアクセスできず、独自の USDT 残高でのみ機能します。

図4。ユーザーが Claim を検証する方法

01

ダッシュボード

サイクルステータスと Claim を表示します。

02

TXハッシュ

ユーザーはオペレーションのハッシュを確認します

03

BscScan

イベント、アドレス、ステータスの確認

04

レジストリ

公式アドレスと ABI を照合する

05

ルール

Smart Cycle と Claim のルール

検証ルール: ダッシュボード、FAQ、パートナー メッセージ、エクスプローラーが異なる場合、ユーザーは公式の Contract Registry、検証済みの契約、および Smart Cycle のルールを通じてアクションを検証します。

5.7 Claim と流動性

Claim は、特定の Smart Cycle の条件が満たされた後のサポート リクエストです。 Claim はいかなる場合でも無条件の支払いとして説明されるべきではありません。正しい表現: 参加者は Smart Cycle 1 のルールに基づいて Claim を送信する能力を獲得し、その実行はサイクルの条件、利用可能な流動性、スマート コントラクトの状態、ネットワーク、およびインフラストラクチャに依存します。

Claim メカニズムの要素	それが何を意味するか	参加者向けの例	どこで確認するか
Claim の空き状況	**サイクルのルールに従って、参加者がサポート リクエストを送信できる瞬間**	**ロック期間が終了すると、インターフェースで Claim ボタンが使用可能になる場合があります。**	**インターフェイス、Smart Cycle ルール、サイクル データ**
ロック期間が完了しました	**選択したサイクル期間が終了した条件**	**サイクルが 30 日間作成された場合、Claim はその期間が終了するまで利用できなくなるはずです**	**サイクルステータス、タイムスタンプ、契約イベント（存在する場合）**
Claim 金額	**サイクルルールに基づいて計算されたサポートリクエストの金額**	**例: エントリー金額 + 計算された delta (サイクルの条件が満たされている場合)**	**インターフェイス、式、Contract Registry、イベント**
流動性の状態	Claim を実行するために利用可能な流動性の存在	**流動性が十分であれば、Claim を実行できます。そうでない場合、リクエストは遅延するか、期待された時点で実行されない可能性があります。**	**プール/流動性のステータス、エクスプローラー、公的システムのステータス**
1回限り/繰り返し請求	Claim を 1 回実行できるかどうか、または追加の制限があるかどうかに関するルール	Claim が成功した後は、同じサイクルで Claim を繰り返すことが不可能になる場合があります	スマート コントラクト、Security Review、インターフェイスのステータス
失敗したトランザクション	**ユーザーがトランザクションに署名したが実行されなかったシナリオ**	**ネットワーク エラー、ガス不足、契約の拒否、不正な Claim 条件**	**ウォレット、エクスプローラー、インターフェースのエラー/ステータス**
請求保留中	Claim が送信されているか、利用可能であるが、結果がまだ確定していない状態	**参加者には待機ステータスが表示されますが、即座に支払いが行われる保証はないことを理解する必要があります。**	**インターフェース、エクスプローラー、システムステータス**
流動性不足	**利用可能な流動性が不足している状態**	**Claim は、新しい受信サイクル、プールの状態、LP/流動性、または運用条件によって異なる場合があります。**	Transparency Center、Security Review、プール データ
Claim の歴史	**サイクルのリクエストと結果の履歴**	**参加者は、Claim が送信されたか、実行されたか、条件を待っているかを確認する必要があります。**	**インターフェース、イベント、エクスプロ**
ユーザーの責任	**ユーザーは自分のウォレットで Claim に署名し、BNB でネットワーク料金を支払います。ガススポンサーシップはアクティブな機能ではありません。**	**間違ったネットワーク、BNB の欠如、またはウォレット エラーにより操作が妨げられる可能性があります**	**ウォレット、BscScan、公式説明書**

ユーザーにとって、サイクルのルールに基づいてリクエストを送信する権利と、そのリクエストの実際の実行という 2 つの異なる概念を区別することが重要です。 1 つ目は、サイクルの条件とインターフェイスのステータスに関係します。 2 つ目は、利用可能な流動性、技術的な状態、および契約条件の履行によって決まります。

5.8 Frontend、バックエンド、Transport、Distribute、パートナーの見越額

パートナー プログラムは完全なオンチェーン自動化ではありません。バックエンドは紹介ツリーとパートナーのアカウンティングを維持します。 Transport は LP から金額を受け取り、Distribute を補充します。Distribute はパートナーに純報酬を支払い、Treasury に料金を支払います。

層	何をするのか	真実の情報源	リスク/開示
Frontend	ウォレット接続、注文表示、ロックアップ/請求ボタン	ABI + バックエンド表示 + エクスプローラー リンク	表示に誤りがある可能性がありますが、オンチェーン検証の代わりにすべきではありません
Backend	Web3 認証、紹介構造、イベント インデックス作成、パートナー アカウンティング	データベース + インデックス付きイベント	ユーザー Claim にとって真実の情報源ではありません
JSON-RPC プロバイダー	イベントとトランザクションの受信	ブロックチェーンノード/プロバイダー	遅延、プロバイダーの障害、再同期が発生する可能性があります
Transport → Distribute	パートナーの金額を LP から引き出し、Distribute を補充します	Transport イベント + オンチェーン構成	演算子 LP-NFT;所有者のみ;現在の料金はチェーン上で検証されます
オーナープロセス	Transport.claimReferral(Distribute, amount); Distribute.distribute(user, amount)	所有者/マルチシグポリシー	-

5.9 権限とリスク

このシステムは、自動化された操作と、チーム、所有者、バックエンドの個別の権限を組み合わせています。

アクション	自動/ユーザー	チーム/オーナー	コメント
ロックアップ/デイリー注文の作成	はい、ウォレットと製品契約を通じて	いいえ	ユーザーがトランザクションに署名する
ユーザーClaim	はい、ユーザーによって開始されました	通常のユーザー フローではいいえ	契約では所有者、注文、時間、報酬、制限を確認します。
すでに作成されている注文の条件を変更する	いいえ	使用すべきではありません	デプロイされたコードと監査範囲を確認する必要がある
セット財務省	いいえ	はい、関数がデプロイされたコード内にある場合は、Owner のみです	管理ポリシーで開示する必要があります
セット料金	いいえ	はい、関数が存在する場合は Owner のみです	料金は将来のアクションの経済性に影響を与えます。変更ログが必要です
setTokenId	いいえ	はい、関数が存在する場合は Owner のみです	共有流動性ポジションにとって重要
Transport 件の資金 + Distribute 件の支払い	いいえ	はい、所有者/バックエンドプロセスを通じて	ユーザー Claim と混合しないでください。 Distribute には LP-NFT へのアクセス権がありません
Backend 紹介会計	いいえ	はい	オフチェーンの信頼境界

5.10 Smart Cycle 1 の障害シナリオ

障害シナリオは、参加者を怖がらせるためではなく、困難な状況におけるシステムの動作を事前に説明するために必要です。ここでは、通常のシナリオだけでなく、障害、流動性不足、または係争中のオペレーションが発生した場合に何が起こるかについても説明します。

失敗シナリオ	何が起こるのですか	ユーザーが見ているもの	どこで確認するか
流動性の欠如	**利用可能な流動性が、期待される Claim を実行するには不十分です**	**Claim は利用できないか、条件を待っているか、予期された時点で実行されない可能性があります**	**インターフェース、エクスプローラー、Transparency Center、プールのステータス**
Backend は利用できません	**サーバー機能、分析、またはパートナー層が一時的に応答しなくなる**	**インターフェイスにエラー、古いデータ、または制限されたモードが表示される場合があります**	**ステータス ページ、インターフェイス、サポート チャネル**
Frontend は利用できません	**ユーザーは個人のダッシュボードを開いたり、インターフェイスを介してアクションを実行したりすることはできません**	**サイトが読み込まれない、ボタンが機能しない、データが表示されない**	**公式チャンネル、ミラー/バックアップ URL、エクスプローラー**
ネットワーク過負荷 / 高ガス	**トランザクションが高価になるか遅くなる**	**ウォレットにガスが多い、保留中または失敗したトランザクションが表示される**	**ウォレット、BscScan、BNB Smart Chain のネットワーク ステータス**
ユーザーエラー	**ユーザーが間違ったネットワーク、アドレス、トークンを選択したか、間違ったトランザクションに署名しました**	**資金が間違った場所に送られるか、アクションが Smart Cycle 1 にリンクされていない可能性があります。**	**ウォレット、Contract Registry、エクスプローラー**
Claim は契約によって拒否されました	**条件が満たされていないため、コントラクトは Claim を受け入れません**	**トランザクションが取り消されるか失敗するか、インターフェイスに拒否が表示される可能性があります**	**エクスプローラー、ウォレット内のエラー/ステータス、Smart Cycle ルール**
パブリックパラメータとコードの不一致	**White Paper、インターフェイス、または FAQ は、最終的なコントラクトとは異なるモデルを示します。**	**ユーザーが delta、料金、または Claim の条件について誤った期待を抱いている**	**製品/契約の一貫性チェック、Security Review、変更ログ**
Smart Cycle 1 の完了または速度低下	**サイクルが活動や流動性を失うか、新しいサイクルに置き換えられる**	**Claim の条件と参加は、サイクルの段階と現在の流動性によって異なる場合があります**	**セクション 5、Transparency Center、インターフェイスのステータス**

変更、移行、およびインシデント

CHANGES	MIGRATION	INCIDENT
Current のアドレスとステータスは、Contract Registry と変更ログで公開されます。	**新しい契約は既存の注文を変更しません。作成された契約にリンクされたままになります。**	**すべてのアクションを停止し、レジストリとエクスプローラーをクロスチェックしてから、サポート チケットを開きます。**

5.11 Security Review Status

Smart Cycle 1 は、基本的な保護メカニズム、ローカル テスト、および Beosin と Cyberscope から公開された外部レポートを使用します。現在の公式 Atlas の説明は、30、2026 年 6 月のサイバースコープ修正フェーズ 2 に言及しています。ソースのスコープは結合されません。

チェック	ステータス	それが何を意味するか
スリザー	合格	自動分析により、手動レビューが必要なクリティカル ゾーンやブロック ゾーンがないことが明らかになりました
ソルヒント	合格	Solidity コードは品質チェックと警告チェックに合格し、妨げとなるコメントはありませんでした。
ファウンドリビルド	合格	プロジェクトは、via_ir=true を指定した solc 0.8.20 経由で正常にビルドされます。
ミスリル	合格	LockupFlow、DailyFlow V1、Transport、および PositionHandler はバイトコードによってチェックされました。 DailyFlow V2 は個別に評価されます。
アデリン	合格	コアの実行は完了しました。手動レビューのための重要な信号は検出されませんでした
ファウンドリのアクセス制御	12/12 が渡されました	外部クレーム、リピートクレーム、所有者のみ Transport、およびファズのシナリオがチェックされました。すべてのテストに合格しました
鋳造ストレス	合格	ロックアップ、デイリー、および Transport のストレス シナリオがチェックされました。ブロッキング逸脱は見つかりませんでした
会計上の不変条件	3/3 が渡されました	ユーザーの純支払額、財務手数料、未請求金額 delta がチェックされました。不変条件が成り立つ
ドキュメントと制作の一貫性	定期的な調整が必要	アドレス、Current/Legacy ステータス、料金、tokenId、および LP 権限は、スナップショット日の時点で BscScan および Contract Registry に対して調整されます。
テストネットバトル	合格	公開チャレンジが実施されました。チェックの結果、批判的な発言は特定されませんでした
サイバースコープ	修正フェーズ 2 · 6 月 30、2026	スコープ: PositionHandler、LockupFlow、DailyFlow V1、Transport、およびディストリビュート。 7 月に追加された DailyFlow V2 2026 は、このレポートの対象外です。 Beosin は依然として別個の公的情報源です。

5.12 BNB SMART CHAIN / PUBLIC VERIFICATION。 Atlas System スマート Contract Registry とインタラクション手法。

実稼働アーキテクチャのスナップショット: BNB Smart Chain、チェーン ID 56。アドレスは BscScan および公式の Contract Registry を通じて検証されます。ソース コード — コミット 0d2014d026a155f1f19de1856309b595a953af92。

ネットワーク
BNB Smart Chain · チェーン ID 56

エクスプローラ
BscScan

日付
2026-08-05

1。 Core スマート Contract Registry

BNB Smart Chain 上のパブリック Atlas System スマート コントラクト アドレス。これらのアドレスは、BscScan を通じてコピーして検証できます。

モジュール	システムにおける役割	住所
Lockup Flow	有期 Smart Cycle 参加に関するユーザー向け契約: 参加者は、選択した期間中システムにヘルプを提供し、完了後はサイクル ルールに従って請求できます。	0x8F6daC6F25A5038112E1A01f1cBBD682e4D64889
Daily Flow V2 · Current	現在の日次契約。 Daily Flow V1 は、既存のサイクルと Legacy ステータスの履歴に対して保持されます。	0x8e61483d45a822cCB59482c47e1b6D28465605EC
USDT BEP-20	サイクルの作成、会計、支払いに使用される決済トークン。	0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955

Atlas インフラストラクチャ契約

Daily Flow V1 Legacy: 0x8F418e29a32AAB69Abf3DA742c43E7aDfBFbA3c3。 LP Atlas: NFT #6928212; SAFE 2-of-3: 0xB0E4699710f98BB13fDaAB887a5D821eDb5DB559; Treasury: 0x20Cdf9839faC80cCDC38CE74D41bD55A93DD87F2; **ポジションマネージャー**: 0x46A15B0b27311cedF172AB29E4f4766fbE7F4364;**プール** USDT/USDC: 0x92b7807bF19b7DDdf89b706143896d05228f3121; USDC: 0x8AC76a51cc950d9822D68b83fE1Ad97B32Cd580d。 **プール** TVL は Atlas 資産と等しくありません。

モジュール	システムにおける役割	住所
Transport	パートナーの金額を LP から引き出し、Distribute にルーティングします。ユーザー Claim ではありません。	0x5a71807861dBFc41aB016271C3191bF96322D42e
Distribute	パートナーの報酬を自身の USDT 残高から支払い、Platform Fee を分離します。 LP-NFT にはアクセスできません。	0xEF156690b98AEc4F805Ec820268B9092bd83B76f

2。検証リンク

Lockup Flow	https://bscscan.com/address/0x8F6daC6F25A5038112E1A01f1cBBD682e4D64889
Daily Flow V2 · Current	https://bscscan.com/address/0x8e61483d45a822cCB59482c47e1b6D28465605EC
USDT BEP-20	https://bscscan.com/address/0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955
Transport	https://bscscan.com/address/0x5a71807861dBFc41aB016271C3191bF96322D42e
Distribute	https://bscscan.com/address/0xEF156690b98AEc4F805Ec820268B9092bd83B76f

3。ユーザーインタラクションの方法論

ユーザーは 4 つの基本的な段階を経ます: ウォレットの接続、USDT の使用の承認、Smart Cycle の作成、選択されたシナリオの条件が満たされた場合の請求の実行

ウォレットを接続する	オフチェーンウォレット接続。オンチェーン署名がなければ、パブリック ブロックチェーン トランザクションは作成されません。
承認 USDT	選択したフロー コントラクトに対する USDT の使用許可。これはまだサイクルの作成ではありません。
Smart Cycle を作成する	ユーザーは、Lockup Flow または Daily Flow V2 を通じてサイクル作成トランザクションを確認します。

4。経済論理と潜在的な経済的利益

Smart Cycle を使用すると、ユーザーは選択したサイクルのルールに従ってシステムにヘルプを提供し、サイクル条件が満たされた後、計算された delta とともに提供された金額の返還を要求できます。

シナリオ	潜在的な利益がどのように生じるか
Lockup Flow	ユーザーは一定のサイクル、期間、参加金額を選択します。期間終了後、ユーザーは契約規定に従って参加額と計算されたdeltaを要求することができます。
Daily Flow	ユーザーは日次サイクルに参加し、契約の日次ロジックに従って利用可能な金額を要求できます。
USDT	USDT は、参加額、動き、支払いが記録される決済資産として使用されます。
Claim 条件	実際に請求できるかどうかは、選択したサイクルのルール、契約状態、利用可能な流動性によって異なります。

この経済論理の説明は収入を保証するものではありません。ユーザーは参加するかどうかを独自に決定し、パブリック BscScan エクスプローラーでトランザクション、コントラクト アドレス、および USDT の動きを確認できます。

5。契約はどのように相互作用するのか

Lockup Flow と Daily Flow V2 は、ユーザーのエントリポイント コントラクトです。パートナールート: Transport → Distribute → パートナー + Treasury。 LP Atlas はパブリック PancakeSwap V3 プール内の NFT #6928212 です。合計プール TVL、Atlas LP 資産、および契約残高は異なる指標です。

契約	システムとのやり取りの仕組み
Lockup Flow	固定期間 Smart Cycles のメインエントリーポイント。ユーザートランザクションを受信し、サイクルレコードを作成し、請求条件をチェックします。
Daily Flow V2	Current 日次サイクルのエントリ ポイント。 V1 は、アクティブなサイクルと履歴に対して Legacy としてのみ保持されます。
Transport	パートナーの金額を LP から引き出し、Distribute を補充します。これはユーザー Claim ではないため、パートナーへの最終的な支払いは実行されません。
Distribute	パートナーおよび紹介支払いの配布レイヤー。ユーザーに料金を支払い、システム ルールに従って platform fee を自動的に分離します。

5.13 所有権、料金、オペレーターの権限

8 月 5、2026 時点の現在の運用構成のスナップショット。使用する前に、所有者、platformFee、tokenId、およびオンチェーンの権限を再確認してください。

Current 構成マトリックス

CONTRACT	OWNER / CONTROL	FEE · TOKENID · LP ACCESS
Lockup Flow	SAFE Atlas · 2-of-3	10% · #6928212 · はい
Daily Flow V2	SAFE Atlas · 2-of-3	10% · #6928212 · はい
Daily Flow V1 · Legacy	SAFE Atlas · 2-of-3	10% · #6928212 · はい
Transport	SAFE Atlas · 2-of-3	0% · #6928212 · はい
Distribute	EOA 0x4c7445C39ee62d3F798f9Fd6a61e9399E3dc8Fae	10% · 該当なし · いいえ

SAFE Atlas 2-of-3 と署名者

LP-NFT #6928212 およびコア コントラクトは SAFE 0xB0E4699710f98BB13fDaAB887a5D821eDb5DB559 によって制御されます。しきい値: 2/3 の署名。

1) 0x7709e4eDcC55714F83027EF39062d7f9761273B6

2) 0x14F9b2cE2850057CAd8e1A9cFeD6eedA777D1C44

3) 0xD067C66C9f4D16130B118929B7BB7Fec5C6FD051

LP-NFT アクセス

オペレータの承認は、Lockup Flow、Daily Flow V2、Daily Flow V1、および Transport に与えられます。 Distribute には LP-NFT アクセス権がありません。パートナーへの報酬は自身の USDT 残高からのみ支払われます。

5.14 流動性と直接的な相互作用

公共プールの流動性、Atlas LP ポジション、サービス契約残高は異なる指標です。 BscScan を介した直接関数呼び出しには、アドレスとパラメータを個別に検証する必要があります。

流動性データの境界

- Atlas 流動性 = 特定の PancakeSwap V3 LP ポジション #6928212 の現在の資産。
- ペア: USDT / USDC;料金階層 0.01%; LP-位置範囲: 46054〜47007 にチェックマークを付けます。
- プール流動性の合計には他のプロバイダーが含まれており、Atlas 残高ではありません。
- Treasury、Distribute、一時的なフロー契約の残高、およびサードパーティのウォレットは個別に会計処理されます。
- LP 位置は、USDT と USDC を異なる比率で保持できます。 Claim の値と可用性は、プールの状態、範囲、外部インフラストラクチャによって異なります。

BscScan を介した直接対話

1。 BNB Smart Chain メインネット、チェーン ID 56、および Contract Registry の現在のアドレスを確認します。
2。新しい Smart Cycle を作成するには、正確な USDT 量を承認してから、lockup を呼び出します。コントラクトへの定期的な USDT 転送ではサイクルは作成されません。
3。 USDT BEP-20 は 18 の小数を使用します: 金額 = USDT 金額 × 10^{18}。ガソリンは BNB で支払われます。
4。作成後、Locked イベントで orderId を見つけるか、メソッドを読み取り、同じウォレットから Claim を呼び出します。
5。新しい日次サイクルには Daily Flow V2 を使用します。既存のサイクルと履歴の場合、Daily Flow V1 は Legacy です。

重大な警告

BscScan は、入力されたアドレスまたはパラメータを検証しません。パートナー バインディングは、公式インターフェイスと紹介リンクを通じて作成されます。直接ロックアップでは、そのバインディングは作成も変更もされません。命令、アドレス、または契約バージョンが現在の Contract Registry と異なる場合は、トランザクションを確認しません。

6. Smart Cycle 寿命

6.1 システムの周期的な性質

Atlas System の重要なアイデアの 1 つは、Smart Cycle が無限の寿命を持つ永遠の製品として認識されないということです。各サイクルには独自のダイナミクスがあります。ローンチ、成長、活発な動きの期間、プラトーの可能性、減速、流動性の低下、完了です。これはモデルの隠れた欠陥ではなく、モデルの正直な説明の一部です。

従来の高収益オンライン プロジェクトでは、システムが無期限に長期間動作するという印象がよくあります。参加者には、安定したパーセンテージ、定期的な支払い、自信に満ちたレトリックが示されていますが、流入するフローが遅くなったり、流動性が低下したり、流動性が枯渇したときに何が起こるかについてはほとんど説明されていません。

Atlas System は別の方法で構築されています。システムは周期性を事前に認識します。 Smart Cycle は、特定の段階では成功し、アクティブになり、需要が高まる可能性がありますが、これは、そのパラメータが永遠に関連し続けることを意味するわけではありません。市場の状況、参加者の行動、流動性への負荷、技術的パラメーター、情報の背景、使用体験は変化する可能性があります。

このロジックは、通常のビジネスを通じて理解するのが簡単です。レストランは明るく開店するかもしれません。最初のゲスト、興味、推薦、入り口の行列。数年も経てば、聴衆はその形式に慣れ、競合他社は何か新しいものを提供するかもしれないが、家賃、人件費、税金、維持費は依然として高い一方で、客の流れは弱まる。このような状況でも、強いオーナーは何も起きていないかのように振る舞うことはありません。メニューを更新したり、コンセプトを変更したり、リブランドを実行したり、新しいフォーマットを立ち上げたりします。

同様のダイナミクスが、多くのテクノロジー、トークン、アプリケーション、デジタル製品にも存在します。最初にアイデアがあり、次に初期ユーザー、次に急速な成長、次に安定化、次に競争、視聴者の疲労、または新しいバージョンへの移行が起こります。すべてのモデルが永遠に同じ形で存在する義務があるわけではありません。多くの場合、プロジェクトの成熟度は、どんな犠牲を払ってでも古い形式を維持しようとすることではなく、ライフサイクルの段階を正直に認識し、次のバージョンに進む能力によって示されます。

Smart Cycle も同様のロジックで動作します。 Smart Cycle 1 は、Atlas System の最初の強力なステージになる可能性がありますが、エコシステム全体の最後かつ永遠の形式になる義務はありません。1 つのサイクルがそのライフサイクルを通じて実行されると、Atlas System は次のサイクルを準備することがあります: Smart Cycle 2、Smart Cycle、3 など。これは、必ずしも前のサイクルの失敗を意味するわけではありません。それは、経験、データ、参加者の行動、市場の状態を考慮した、システムの新しいレベルへの自然な移行を意味する場合があります。

このロジックでは、各 Smart Cycle は経済プロトコルの別個のバージョンと見なすことができます。最初のバージョンでは、基本的なメカニズムをテストし、参加者の実際の行動モデルを示し、ルールの長所と短所、流動性への負荷、コミュニケーションの質、計算されたモデルの回復力を明らかにします。後続のバージョンでは、このエクスペリエンスが考慮され、より正確で、より理解しやすく、より回復力のあるものになる可能性があります。

したがって、Atlas System は 1 回限りのキャンペーンというよりは、デジタル協力の生きた実験室のようなものです。各サイクルでは、人々がどのように用語を選択するか、リスクにどのように反応するか、リーダーがどのように行動するか、どこで過負荷が発生するか、どのパラメータが明確で、どのパラメータが改善の必要があるかなど、システム データが得られます。この経験は、間違いを正当化するためではなく、その後の Smart Cycles、インターフェイス、ドキュメント、パートナー プログラム、および保護手段を開発するために必要です。

Smart Cycle のダイナミクスは、コミュニティの行動に大きく依存します。主催者は、ルール、インターフェイス、ドキュメント、スマートコントラクト、パートナーインフラストラクチャ、およびコミュニケーションを準備できます。しかし、サイクルのアクティブな段階の期間は、参加者がシステム内でどのように行動するか、つまりルールを学ぶかどうか、リスクを正直に説明するかどうか、チームをサポートするかどうか、新しい人を招待するかどうか、信頼を維持するかどうか、虚偽の約束を避けるかどうか、モデル全体における自分の役割を理解しているかどうかによって決まります。

したがって、特定の Smart Cycle の正確な寿命を正確に予測することは不可能です。それは数か月単位で測定される場合もあれば、大幅に長く生きる場合もあります。活動は低下し、その後再び強化される可能性があります。成長は市場、言語、地域、リーダー、ニュース環境、技術的要因、参加者自身の行動に依存する可能性があります。 Atlas System はこれについて公然と語っており、永遠のメカニズムという幻想を生み出しません。

このロジックでは、Atlas System 参加者は受動的な観客ではなく、単にボタンを押したクライアントでもありません。これらは生きたシステムの一部になります。つまり、Atlas System の次のバージョンの貢献者であり、観察者であり、ある意味では共同作成者でもあります。彼らの行動、規律、フィードバック、コミュニケーション文化、リスクについて率直に話す意欲が、プロトコルの次のバージョンがどうなるかに影響を与えます。

Smart Cycle を作成し、学習し、公式情報を共有し、人々を正しく招待し、コミュニティの文化をサポートすることで、参加者は Atlas System の共有基盤に独自のレンガを追加します。参加者がこの責任を理解し、意図的に行動すればするほど、エコシステムはより強力になり、そのアクティブな段階がより長く維持される可能性があります。

同時に、Atlas System は永遠を約束するものではありません。実体経済のあらゆるものには、始まり、発展、成熟、減速、再生という段階があります。 Atlas System の強みは、単一の Smart Cycle が無限に存続するという約束ではなく、周期性を正直に認識し、ある段階から次の段階に移行する能力にあります。

したがって、Smart Cycle 1 はエコシステム全体の最終形態ではなく、開発の第 1 段階とみなされます。 Atlas System メカニズムを開始し、モデルの動作を実証し、最初のデータを生成し、最初の国際コミュニティを引きつけ、その後の意思決定の基盤を提供します。

Smart Cycle のライフサイクルは、いくつかのフェーズを通じて説明できます。

段階	何が起こるのですか
準備	**ルール、パラメータ、リスク、インターフェース、ドキュメント、技術情報が公開されています。**
Launch	**参加者が Smart Cycles の作成を開始し、初期のアクティビティと流動性が形成されます**
成長	**参加者数が増加し、パートナー体制とトレーニングインフラが整備される**
安定	**システムは安定した使用期間を経て、参加者の行動と負荷に関するデータが表示されます。**
減速する	**活動は減少する可能性があり、Claim は利用可能な流動性に依存する可能性があり、参加が遅れるリスクが増加します**
完了	**このサイクルにより、経済的関連性が枯渇し、ユーザーが興味を失う可能性があります。**
遷移	**エコシステムはエクスペリエンスを分析し、パラメーターを更新し、次のサイクルまたは製品を準備します。**

このアプローチにより、Atlas System がより正直になります。参加者は、特定の Smart Cycle の寿命が無限ではないことを事前に理解しています。流動性の動きが低下した場合、新規のSmart Cyclesが不足した場合、またはモデルの条件が市場と一致しなくなった場合、サイクルは減速または完了の段階に入る可能性があります。

個々の Smart Cycle が完了しても、Atlas System が終了するわけではありません。 Atlas System は、単一の契約、単一のプラン、単一のリリースよりも広範囲に及びます。エコシステムには、コミュニティ、ドキュメント、パートナー プログラム、トレーニング資料、ガバナンス メカニズム、技術インフラストラクチャ、および後続のサイクルを開始する機能が含まれます。

将来、Atlas System は、サイクル間の移行の回復力を高めるために、別のエコシステム サポート メカニズムを検討する可能性があります。たとえば、エコシステム料金の一部、または新しい Smart Cycles の計算された delta の特別に承認されたシェアは、以前のサイクルの透明なサポート準備金に振り向けられる場合があります。このようなメカニズムは、損失補償、資金の返還、または参加者への強制支払いの保証としてではなく、パラメーター、制限、補充源、分配手順、リスク開示、および必要に応じて事前に公開される DAO にインスピレーションを受けたガバナンスの承認を備えた別個のルールとして説明されています。

このようなリザーブが実装される場合、参加者はその限界を事前に認識します。リザーブは不十分である可能性があり、分配はニーズの一部のみをカバーする可能性があり、支払いは行われない可能性があり、前のサイクルに対するサポートの存在は Smart Cycle の高リスクの性質を否定するものではありません。 Atlas System は、後続の各サイクルが前のサイクルの結果を自動的にカバーするという期待を生み出しません。正しいフレームは補償の約束ではなく、個別に承認され技術的に実装されていれば、エコシステム支援の透明なツールとなる可能性があります。

新しい Smart Cycle の置き換えまたは起動によって、公開されたルールや技術ロジックで規定されていない限り、すでにアクティブなサイクルの条件が遡及的に変更されることはないことを理解することも重要です。参加者は、参加する前に特定のサイクルの条件を調査し、どのルールが自分の行動に特に適用されるかを理解します。

新しいパラメータまたは新しいスマート コントラクトが新しいサイクルに使用される場合、Atlas System はアドレス、ルール、計算されたシナリオ、リスク、監査またはセキュリティ レビュー、明確なバージョン ステータスとともにそれらを個別に公開します。

6.2 新しい Smart Cycles — Concept / Planned、アクティブではありません

Smart Cycle 1 の後、Atlas エコシステムは、Smart Cycle 2、Smart Cycle 3、Smart Cycle 4、Smart Cycle 5 などの後続のサイクルを開始する場合があります。それぞれの新しいサイクルは、ランダムな再起動としてではなく、技術的結果、参加者の行動、流動性への負荷、コミュニティからのフィードバック、法的勧告、セキュリティレビューの結果、製品データなど、前の段階の経験を考慮した経済プロトコルの新しいバージョンとして見なされます。

新しい Smart Cycle を起動するポイントは、単に名前を変更して最初からやり直すことではありません。重要なのは、蓄積された経験を活用して、次のバージョンをより理解しやすく、より回復力があり、より正確なものにすることです。どの用語がより効果的か、参加者がどこで間違いを犯すか、どのパラメータが流動性を過大にしているか、どの説明が誤解を引き起こしているか、どのリスクをより強力に開示する必要があるかを Smart Cycle 1 が示した場合、Smart Cycle 2 はこのデータを念頭に置いて設計できます。

新しい Smart Cycle は、前の Smart Cycle の正確なコピーである必要はありません。計算された delta、料金、技術アーキテクチャ、Claim 条件、自動化のレベル、バックエンド インフラストラクチャの関与の程度、パートナー プログラムのルールなどの点で異なる場合があります。すべての重要な違いは事前に公開され、参加前に説明されます。

新しい Smart Cycle を起動する前に、参加者には別のバージョン シートが表示されます。

公開されている内容	なぜ必要なのか
サイクルの名前とバージョン	Smart Cycle 2 が Smart Cycle 1 ではないことを参加者が理解できるようにするため
主なパラメータ	金額、条件、計算された delta、手数料、Claim、および制限
前のサイクルとの違い	何が変わったのか、なぜ変わったのかが分かるように
契約アドレスとネットワーク	古いアドレスではなく、現在のバージョンを正確に確認するには
リスク開示	新バージョンのリスクを参加前に明らかにするため
セキュリティステータス	どのチェックが合格し、どのチェックが進行中かを理解するため
パートナー プログラムへの影響	リーダーが新しいサイクルがパートナー構造にどのように関係するかを理解できるようにする

新しい Smart Cycle はそれぞれ、別個のバージョンまたは別個の製品ステージとして説明されます。参加者は、どのサイクルに参加しているのか、どのパラメータがそのサイクルに特に適用されるのか、契約アドレスがどこで公開されるのか、選択したバージョンにどのリスクが関係するのかを理解します。 Smart Cycle 1 への参加は、Smart Cycle 2 の条件への自動的な同意を意味するものではありません。

新しい Smart Cycle を開始するという最終決定には、公式パラメータ、技術的説明、契約アドレス、リスク開示、および更新されたドキュメントの公開が伴います。新しいサイクルで新しいコントラクトが使用される場合、ユーザーは古いアドレスや口頭メッセージに頼るのではなく、新しい Contract Registry を正確に検証します。

新しい Smart Cycle は、古いサイクルのルールを遡って変更するものではなく、前のステージの参加者に対する自動的な報酬の約束でもありません。 Atlas System が以前のサイクルをサポートするメカニズムを使用している場合、そのようなルールは、補充源、制限、分配条件、およびこれが資金の返還を保証するものではないことを直接示すものとともに個別に公開されます。

Atlas System の周期的な性質により、システムの適応性が高まります。単一の製品を無期限に維持しようとする代わりに、エコシステムは段階的に発展することができます。つまり、サイクルを開始し、結果を調査し、間違いを記録し、パラメータを改善し、アーキテクチャを更新し、次のバージョンに移行します。このアプローチはソフトウェア製品の開発に近いものです。最初のバージョンでは基本メカニズムが起動され、後続のバージョンでは実際の使用に基づいてアーキテクチャが改良されます。

参加者にとって、これはより正直な期待を意味します。つまり、特定の Smart Cycle が経済的に関連する期間は限られている可能性があります。リーダーにとって、これは長期的な構造の維持を意味します。たとえ 1 つのサイクルが終了したとしても、コミュニティ、トレーニング、パートナー ネットワーク、経験は Atlas System の次の段階に引き継ぐことができます。

このように、Smart Cycle の寿命は Atlas System の存在に対する脅威ではなく、アーキテクチャの一部です。サイクルは始まり、終わりますが、Atlas System は各段階で学習し、経験、データ、チェック、コミュニティの参加に基づいて新しいメカニズムを開始できるエコシステムとして発展を続けます。

6.3 DAO ガバナンス — Concept / Planned、アクティブではありません

DAO ガバナンスは、将来の独立した意思決定メカニズムであると考えられています。これは現在アクティブではなく、Smart Cycle のルールに代わるものではなく、法的または技術的な意味で Atlas を本格的な DAO にするものではありません。パラメータは、別の公開と起動後にのみ有効になります。

Smart Cycle 1 のアクティビティが完了または使い果たされた後、Atlas System チームは次のサイクルに関するいくつかのオプションを議論にかけることがあります。たとえば、コミュニティには、条件、計算された delta、リスク レベル、流動性要件、Claim 条件、パートナーの負荷、および技術アーキテクチャが異なるさまざまなバージョンの Smart Cycle 2 が提供されます。

管理者が独自の裁量で次のサイクルを選択する代わりに、Atlas System はガバナンス プロセスを使用します。チームはオプションを準備し、パラメーターを公開し、リスクを説明し、相違点を示し、議論期間を開きます。その後、参加者は専用の DAO ガバナンス プラットフォームを通じて投票します。

このようなプラットフォームは、可能な限り透過的に動作します。参加者の投票は、技術アーキテクチャによって承認されている場合、ブロックチェーンベースの投票または別の検証可能な Web3 メカニズムを通じて記録されます。参加者は、どの選択肢が投票にかけられたのか、投票の重みはどのくらいなのか、結果はどのように数えられるのか、結果はどこで公開されるのか、そして採択された決定がどのようなステータスにあるのかを確認します。

Atlas System における投票の重みの基本ロジックは、ステークベースの影響力モデルに基づいて構築されている可能性があります。つまり、参加者がエコシステムの経済に実際に参加するほど、投票の重みが大きくなります。

投票率の計算:

見越額の基礎	投票の重み	例
10 USDT は Smart Cycle / Atlas System 製品に誘導されます	1 票	100 USDT の参加 = 10 票
10 USDT をパートナー プログラムに基づいて受け取りました	1 票	1,000 USDT パートナー獲得 = 100 票

将来のモデルの説明に役立つ例: 投票の重みを計算する際に、参加とパートナーの活動が考慮される可能性があります。式 10 USDT = 1 投票は承認されておらず、有効ではないため、別のガバナンス文書が発行されるまで現在のルールとして扱ってはなりません。

このモデルは、小規模な参加者を排除するためではなく、ガバナンスを形式的な操作から保護するために必要です。ウォレットの数だけをカウントすると、多数の小規模アカウントによって投票が歪められる可能性があります。経済的参加が考慮される場合、その重みは Atlas System の発展への実際の貢献をより強く反映します。

投票評価は累積的かつ動的である場合があります。Smart Cycles への参加、Atlas System 製品でのアクティビティ、およびパートナーによる見越金の受け取りが増加するにつれて増加し、現在のガバナンス モデルのルールにも基づいて更新されます。計算式、制限、会計期間、考えられる例外、および悪用に対する保護は、投票が開始される前に公開されます。

DAO からインスピレーションを得たメカニズムは、次の目的で使用できます。

- 将来の Smart Cycles のパラメータについて議論しています
- エコシステムの開発優先順位の選択
- 参加者やリーダーからのフィードバックを収集する
- ウェビナー、トレーニング資料、地域の取り組みのトピックに対する投票
- 次のアーキテクチャのオプションを評価する
- 最終決定の前に Smart Cycle 2 のいくつかのオプションを比較します
- 加重投票による新しい Smart Cycle のオプションの選択
- 新しいサイクルを開始する前にコミュニティシグナルを形成する

ガバナンスを通じて新しい Smart Cycle を起動するシナリオは次のようになります。

ステージ	何が起こるのですか
1。前のサイクルの分析	チームは Smart Cycle 1 の結果、つまりダイナミクス、リスク、負荷、間違い、フィードバック、参加者の行動データを記録します。
2。オプションの準備	Smart Cycle 2 のいくつかのオプションが、異なるパラメータとリスク開示とともに公開されています
3。議論	参加者、リーダー、チームはオプションについて話し合い、質問し、改善策を提案します。
4。投票	参加者は、投票の重みを考慮して、DAO ガバナンス プラットフォームを通じて投票します。
5。結果を数える	ウォレットの数ではなく、各オプションの投票の重みの合計が合計されます。
6。「どれも受け入れられない」オプション	提案されたオプションに手直しが必要な場合、参加者は別のオプションを選択できます
7。最終チェック	勝ったオプションは、技術的、法的、経済的、およびセキュリティのレビューを受けます
8。実装	チームはスマート コントラクト、インターフェイス、ドキュメント、監査/セキュリティ レビュー、および開始日を準備します。
9. Launch	新しい Smart Cycle は、アドレス、パラメータ、および公式ルールを含む別のバージョンとして公開されます。

どのオプションもコミュニティに受け入れられない場合、チームはパラメータを調整し、更新されたオプションを再投票にかけることができます。これはモデルの重要な部分です。参加者は単に事前に課されたオプションから選択するだけでなく、提案されたアーキテクチャには修正が必要であることを示すことができます。

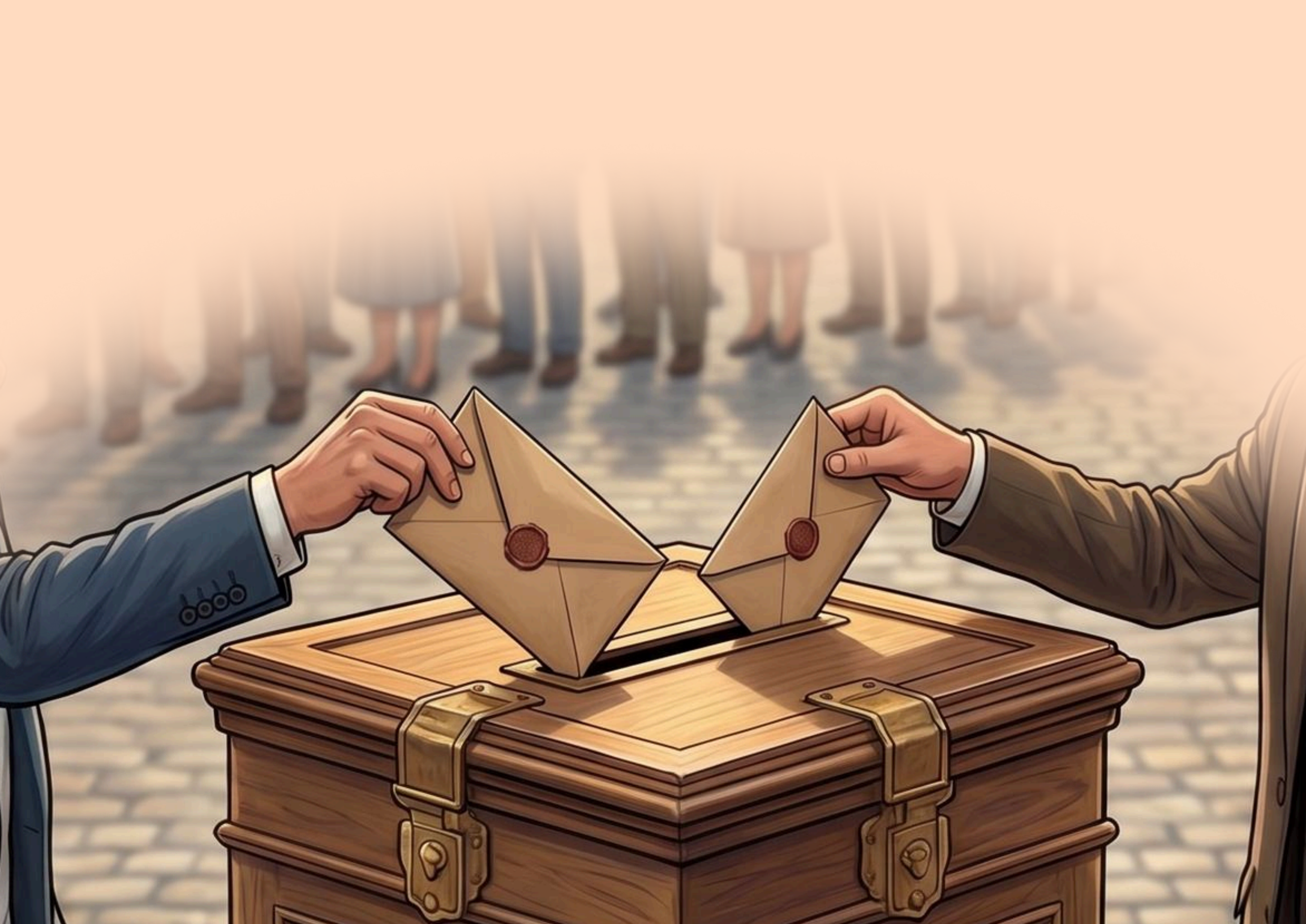
いずれかのオプションが公開された投票ルールに基づいて必要なサポートを得た場合、チームは新しい Smart Cycle の準備を開始できます。準備時間は、アーキテクチャ、開発、テスト、監査、セキュリティ レビュー、インターフェイスの準備、ドキュメントの複雑さによって異なります。基準点は約 1 か月から 1 か月半の期間ですが、最終的な期間は打ち上げごとに個別に記載されます。

決定のしきい値、定足数、支持の最低割合、投票期間、投票権を持つ参加者のリストは、別のガバナンス文書または DAO ガバナンスのルールに記載されています。たとえば、最小サポートしきい値は個々の投票に使用できますが、33% などの特定の値は、承認されたルールがなければ最終的な値とは見なされません。

同時に、DAO にインスピレーションを得たガバナンスは、コミュニティが投票を通じて支払いを保証し、リスクを除去し、アクティブな Smart Cycles の条件を遡及的に変更し、スマート コントラクトをバイパスし、個別に公開されたガバナンス文書なしで Atlas System を本格的な DAO に変えるといった誤った印象を与えることはありません。投票は方向性を選択するのに役立ちますが、新しいバージョンを安全にリリースするためのチームの技術的、法的、製品的責任が免除されるわけではありません。

このアプローチは、参加者が単に上からの決定を待つだけでなく、Atlas System の次のバージョンの開発に意図的に参加するのに役立ちます。行政はオプションを提案し、技術的な実装を提供します。一方、コミュニティは透明性のある投票を通じて、どのパスが最も強力で最も受け入れられると考えるかを示します。

DAO ガバナンスは、次の Smart Cycle を選択するためだけでなく、Atlas System の開発に関するコミュニティのシグナル (製品の優先順位、トレーニング資料、ウェビナー、ローカル イニシアチブ、将来のバージョンのパラメーター、さまざまな地域のリーダーからのフィードバックなど) を収集するためにも使用できます。



6.4 Atlas エコシステムと Roadmap

Atlas は、Smart Cycle を中心としたエコシステムとして発展しています。以下のステータスは、8 月 5、2026 の時点での公開 Web サイトのスナップショットです。アクティブな製品はコンセプトや参考となるタイムラインから分離されています。

Active	Smart Cycle 1 Invite & Earn Knowledge Hub	**現在のエコシステムで利用可能**
Q4 2026	Performance Partners Program **ガバナンス** Atlas P2P Exchange	**計画/目標、日付の約束ではない**
Q1 2027	Atlas Academy Talk Messenger	Planned / **ターゲット、アクティブではありません**
Q2 2027	Crypto Wallet Swap DAO	Planned / **ターゲット、アクティブではありません**
Q2 2028	Bank DAO	Concept / **長期コンセプト**

7. パートナープログラム

7.1 一般情報

Atlas System パートナー プログラム (Invite & Earn) は、参加者が人々を招待し、独自の構造を構築し、プログラムの公開されたルールに基づいてチームのアクティビティからパートナー報酬を受け取ることができるコミュニティ成長メカニズムです。

Invite & Earn は、ステータスと圧縮/解凍メカニズムのマルチレベル システムを備えた線形パートナー モデルとして構築されています。そのロジックは、紹介ツリーで誰が最初に上位に着いたかではなく、参加者の実際の結果、つまり個人的な活動、最初の行の量、構造の深さ、チームのトレーニングの質、行われた作業の全体量を重視しています。したがって、構造内で下位の参加者がより強力な結果を示し、ステータスが成長し、資格で上位の参加者を追い越し、プログラムのルールに基づいてより高いパートナーの割合を受け取る可能性があります。

Invite & Earn は Smart Cycle に代わるものではなく、収入を保証するものでもありません。 Smart Cycle は、参加者が相互扶助システムとどのように対話するかという質問に答えます。パートナー プログラムは、参加者がどのようにしてコミュニティを発展させ、新人をトレーニングし、チームを維持し、Atlas System エコシステムの成長に参加できるかという別の質問に答えます。

プログラムの重要な原則: パートナー ボーナスは、全額 Smart Cycle ではなく、招待された参加者の計算された追加 delta から計算されます。たとえば、招待された参加者が 100 USDT の計算 delta を使用して 22.5 USDT のサイクルを作成した場合、パートナーの割合は参加額ではなく、特にその delta に適用されます。

パートナー プログラムには、紹介属性、キャリア ステータス、計算された delta からのボーナス、圧縮、マッチング ボーナス、トレーニングの役割、ウェビナー、ローカル チーム、その他の開発ツールが含まれます。見越額、資格、制限、および制限の具体的な条件については、以下のパートナー プログラム ルールおよびインターフェイスの現在のバージョンで説明されています。

プログラムのキャリア ロジックは、個人的な活動、最初の行、および構造全体のボリュームを中心に構築されています。プログラムのルールに基づく参加者のステータスが高くなるほど、チームの計算 delta におけるパートナーの割合も高くなります。同時に、ステータスは支払いに対する無条件の権利を生み出すものではありません。正しい帰属、構造の活動、違反の有無、システムの技術的状態、および現在の Atlas System ルールがすべて考慮されます。

圧縮は、さまざまなステータスのアクティブな参加者間でパートナー報酬をより公平に分配するために必要です。一般的なロジックでは、プログラムの現在のルールで規定されているように、アップライン パートナーは自身のパートナーのパーセンテージとダウンライン パートナーのパーセンテージの差を受け取ります。

マッチングボーナスは、成熟したリーダーレベルを対象としています。その任務は、ダウンライン参加者の成長を妨げるのではなく、自分のチーム内で強力なパートナーを育てるリーダーをサポートすることです。マッチングボーナスの特定のサイズと条件は、プログラムの公開されたルールに基づいてのみ適用される必要があります。

Invite & Earn の重要な長期的なアイデアは、リーダーシップの資本を維持することにあります。リーダーは、1回の立ち上げのための一時的なチームを構築するのではなく、Atlas System エコシステム内の構造を構築します。 Smart Cycle 1 がそのライフサイクルを実行し、将来的に新しいサイクルまたは製品が発売される場合、パートナー構造は単一のエコシステム内に維持されます。

Atlas System パートナー プログラムは、給与、不労所得、投資保証、配当、または固定手数料の約束ではありません。報酬は、公開されたルール、参加者のステータス、構造のアクティビティ、データの正確性、技術的条件、システムの制限、および通信ルールの順守によって異なります。強力な Atlas System パートナーは、機会だけでなくリスクも説明する必要があります。参加の自発的な性質、保証の欠如、Smart Cycle のルール、流動性の役割、Claim ロジック、Web3 リスク、および独自の決定を下す必要性などです。



7.2 キャリアラダー

Atlas System キャリア ラダーは、開始ステータスからリーダー レベルまでの参加者のパスを表します。キャリアのはしごに沿った成長は、個人の参加、第一線の育成、組織の成長、チームのトレーニング、新たなボリュームの達成を通じて起こります。

8 月の時点で現在公開されているモデル 5、2026 には、19 ステータスが含まれています。

ステータス	個人のアクティブなサイクル、USDT	構造体の 1 番目の行 USDT のアクティブなサイクルの量	構造全体のアクティブなサイクルの体積 (無限の深さ)、USDT	delta からのボーナス、%	一致、%
Start	10	必要ありません	必要ありません	15	-
Builder 1	50	100	必要ありません	18	-
Builder 2	100	300	1,000	21	-
Builder 3	200	700	2,000	24	-
Builder 4	300	1,200	4,000	27	-
Builder 5	500	2,000	7,000	30	-
Builder 6	700	3,000	12,000	33	-
Builder 7	1,000	4,500	18,000	36	-
Master 1	1,500	7,000	28,000	38	5
Master 2	2,000	10,000	40,000	40	7
Master 3	3,000	17,000	70,000	42	9
Master 4	4,000	25,000	120,000	44	11
Master 5	5,000	35,000	200,000	46	13
Master 6	6,000	45,000	300,000	48	15
Master 7	7,000	60,000	450,000	50	17
Strategist	8,000	80,000	600,000	52.5	19
Ambassador	10,000	100,000	800,000	55	21
Director	12,000	120,000	1,100,000	57.5	23
Executive	15,000	150,000	1,500,000	60	25

パートナー チームをアクティブにするには、Start ステータスの要件を満たす必要があります。サイクルごとの最小個人アクティビティは $10 です。

ビルダー レベルは、最初のチームを構築し、構造を成長させる段階を反映します。マスターレベルでは、マッチングボーナスを含む、より高度なリーダーシップメカニズムがロック解除されます。リーダーシップステータス Strategist、Ambassador、Director、および Executive は、大規模な組織、国際的なチーム、体系的な教育活動を開発する参加者を対象としています。

delta からのボーナスは、構造のパートナーから受け取った追加 delta のうち計算されたパートナーの割合であり、Smart Cycle 全体の割合ではありません。これは重要な違いです。パートナーへの報酬は、固定利益として説明したり、プログラムのルールを超えて参加者に一定の金額を支払う Atlas System の義務として説明したりするべきではありません。

マッチングボーナスは、より成熟したリーダーレベルを対象としています。その任務は、チームの成長を妨げるのではなく、その下で他の強力なリーダーを成長させる強力なリーダーをサポートすることです。ダウンラインパートナーがより速く発展し、強力な構造を構築し、高いステータスに到達すると、システムは公開されたルールに基づくマッチング メカニズムを通じてこれを考慮できます。

構造体積を計算するには、深さ係数が使用されます。現在の作業モデルでは、最初の 1 ～ 5 行はボリュームの 100% としてカウントされ、行 6 ～ 10 は 50% としてカウントされ、行 11 以降は 10% としてカウントされます。インターフェイスには、実際の構造体積と、係数を適用した後の計算された構造体積の両方が表示される必要があります。

7.3 追加の条件と機会

パートナー プログラムの追加の機会には、トレーニング、ウェビナー、リーダーシップの役割、ローカル チーム、プロモーション資料、品質評価、ウェビナーを主催するためのアプリケーション、およびその他のコミュニティ開発ツールが含まれます。

Atlas System 個人ダッシュボードは、バナー、プレゼンテーション画像、ランディング ページ、テキスト、ビジュアル要素、トレーニング資料、その他の承認されたアセットなど、エコシステムを宣伝するためのブランド素材の個別のセットを提供します。これらの資料は、パートナーが統一されたスタイルで Atlas System を説明し、正しい表現を使用し、プロジェクトに関する断片的なコミュニケーションが生じるのを避けるのに役立ちます。

ブランド素材の使用は、パートナーのコミュニケーションルールに従う義務を免除するものではありません。素材は、その意味を歪曲したり、収入の保証を約束したり、公式 Atlas System 文書で確認されていない記述をしたりすることなく、現在のバージョンで使用する必要があります。

パートナー プログラムのアクティブ化は、10 USDT 以降の最初の Smart Cycle の作成後に自動的に行われます (インターフェイスの現在のルールで確認されている場合)。その後、参加者は紹介リンクを使用して、個人ダッシュボードでチーム構造、ステータス、パートナーのアクティビティ、見越額、パートナーの業務履歴を確認できるようになります。

Lockup Flow サイクルの場合、パートナー ボーナスは、サイクルの実際の完了を待たずに、招待された参加者が Smart Cycle を作成した瞬間に計算された追加の delta の割合として発生します。ボーナスのサイズは、招待された参加者が Smart Cycle を作成した時点の招待者のステータスによって決まります。

Daily Flow サイクルの場合、パートナーの発生額は段階的に分配されます。20% はサイクルの作成時に発生し、80% は 200 日間にわたって均等に発生します。

ウェビナーは、Atlas System パートナー インフラストラクチャの重要な部分です。これらは、さまざまな言語やタイムゾーンの参加者が、Smart Cycle のメカニズム、安全ルール、ウォレットの仕組み、パートナー プログラム、主要なリスクを理解するのに役立ちます。ウェビナーを主催するアプリケーションは、Builder 4 以上のステータスの参加者が利用できます。

質の高いウェビナーを主催した講演者には金銭的ボーナスが提供されます。このようなボーナスの額は 30 ドルから 150 ドルの範囲で、参加者数、プレゼンテーションの質、講演者の評価、承認された資料の順守、コミュニティへの利益によって異なります。このようなボーナスは、給与、保証された支払い、または何らかのパフォーマンスに対する自動的な権利ではありません。

リーダー間の利益相反を避けるために、教育ウェビナーが他のリーダーの参加者を引き抜くためのツールになってはなりません。講演者の個人的な営業ではなく、制度やリスク、ルールの説明が主な仕事です。ルールで特定の形式での紹介リンクの使用が許可されている場合は、これを個別に説明する必要があり、他のリーダーや参加者の利益を侵害してはなりません。

Atlas System パートナーは正しい表現を使用する義務があります。以下のことは禁止されています。

- 収入保証を約束する
- Smart Cycle を預金、普通預金口座、または投資と呼びます。
- リスクと保証の欠如を隠す
- 緊急性の高いプレッシャー、またはチャンスを逃すことへの恐怖
- 時代遅れの材料を使用する
- Atlas System、チーム、またはスマート コントラクトに代わって結果を約束する
- シードフレーズ、秘密鍵、または参加者のウォレットへのアクセスを要求する
- プロジェクトのステータス、監査、DAO、または支払い保証に関して参加者を誤解させること

パートナー プログラムは Atlas System の透明性を強化する必要があり、新たな誤った期待を生み出すべきではありません。リーダーがチームを構築する場合は、正しい理解に基づいてチームを構築する必要があります。Atlas System は計算された機会、パートナー ツール、トレーニング、インフラストラクチャを提供しますが、リスクを排除するものではなく、財務結果を保証するものではありません。

コミュニケーションルールへの違反、悪用、フィッシング、操作、自己紹介スキーム、偽造資料の使用、または収入保証の約束があった場合、参加者は、現在の Atlas System ルールに従って、特定のパートナー機能、ボーナス、ウェビナー アプリケーションへのアクセス、またはプログラムのその他の機会に対する権利を失う可能性があります。

このように、Atlas System パートナー プログラムはコミュニティの長期的な発展のためのツールです。これは、リーダーシップの資本を維持し、参加者を訓練し、透明なデジタル相互扶助のアイデアを中心とした国際構造を構築するのに役立ちます。その意味は、Smart Cycle を収益の約束に置き換えることではなく、積極的な参加者に成長、責任、エコシステムの発展への貢献の明確な道筋を与えることです。

8. Atlas System — 自発的なピアツーピア資金調達のためのプラットフォーム

8.1 運用原理（相互扶助基金）

Atlas System は、自発的なピアツーピア資金提供のためのデジタル プラットフォームです。日常的に言えば、これは相互扶助基金です。参加者は、スマート コントラクトに埋め込まれた、事前に記述された変更不可能なルールに基づいて自発的に他の参加者にサポートを提供します。システムはパラメーター、ステータス、計算された指標、および操作の履歴を記録します。

Atlas System は、銀行、投資ファンド、ブローカー、管理会社、資金の返還が保証された決済システム、または資産管理サービスではありません。参加者は、取引、投資、マイニング、ステーキング、またはチームが利益を生み出して参加者に返すことを約束するその他の活動のために Atlas System チームに資金を渡すことはありません。

Atlas System のロジックは別の方法で構築されています。参加者はデジタル システムとスマート コントラクト インフラストラクチャと対話し、利用可能な Smart Cycle を選択し、サイクルのパラメータを調査し、参加について決定し、自発的にサイクルを作成します。この後、システムは公開されたルールを適用します。つまり、サイクルのパラメーターを記録し、指標を計算し、ステータスを表示し、Claim の条件が存在する場合には、参加者が対応するアクションを実行できるようにします。

このようなモデルの重要なアイデアは、企業活動からの収入の約束ではなく、相互扶助のルールへの透明な参加です。 Atlas System は、市場の不透明な伝説をより誠実な構造に置き換えることを目的としています。参加者は、自分の行動に何が起こるか、サイクルにどのような条件が組み込まれているか、どのようなリスクが存在するか、そしてなぜ結果が事前に保証できないのかを理解する必要があります。

自主的な相互資金調達のモデルには、成熟した態度が必要です。このようなシステムの高リスクの性質を理解し、独立して情報を確認でき、最後のお金を使い切らず、参加のためにローンを組まず、計算された delta をいかなる状況下でも収入を支払うシステムの義務として認識しない参加者にとっては興味深いかもしれません。

8.2 サイクルの作成は他の参加者への自発的なサポートです

Smart Cycle の作成は、相互扶助システムへの参加を目的とした、参加者による自発的な行為として見なされるべきです。参加者は証券を購入したり、Atlas System 会社の株式を取得したり、投資管理契約を締結したりしません。

参加者がサイクルを作成するとき、参加者はモデルの性質を理解していることを確認します。参加者のアクションはシステムと他の参加者のサポートに関連していますが、その後に起こり得る Claim は、特定のサイクルのルール、システムの状態、利用可能な流動性、参加者のアクティビティ、インフラストラクチャの技術的な操作性、およびドキュメントに記載されているその他の要素によって異なります。

コミュニケーションにおいては、この原則を正しく説明することが重要です。参加者が「利子を付けて投資する」、「リターンを買う」、「経営者にお金を渡す」、または「サイクル期間の終了時に利益を受け取ることが保証されている」とは言えません。より正確な表現: 参加者は、公開されたルールに基づいて自発的に Smart Cycle を作成し、それらのルール内でシステムと対話する機能を獲得します。

インターフェイスまたはドキュメントに記載されている計算された delta は、特定のサイクルの数学的パラメータを示します。これは参加者が経済モデルと潜在的な計算シナリオを理解するのに役立ちますが、それ自体では Atlas System を投資商品に変えるものではなく、いかなる場合でも参加者に結果を支払う保証された義務を生み出すものでもありません。

このアプローチは法的だけでなく倫理的にも重要です。 Atlas System は、リスクが存在しないという幻想に基づいて構築されるべきではありません。それどころか、参加者は機会とリスクを同時に認識する必要があります。サイクルの計算されたパラメータ、パートナーのインフラストラクチャ、スマートコントラクトの透明性だけでなく、保証の欠如、システムの状態への依存、資金損失の可能性なども考慮する必要があります。

8.3 保証の不在

Atlas System は、Smart Cycle への参加はリスクが高いという前提から直接進められます。 Atlas System チームも、インターフェイスも、パートナーも、ウェビナーの講演者も、他の参加者も、サポートの返還の保証、delta の保証、固定収入、安定した収益、明確な支払い期限、または損失がないことを約束してはなりません。

保証がないとは、次のことを意味します。

- 参加の結果を事前に約束することはできません
- 計算された delta は利益を保証するものではありません
- Claim はサイクル、流動性、システムの状態の条件に依存する可能性があります
- インターフェイス、サーバーインフラストラクチャ、ウォレット、ブロックチェーン、およびサードパーティサービスの運用には技術的なリスクが伴う可能性があります
- 参加者は、ウォレットの接続、トランザクションの確認、シードフレーズと秘密鍵の保存に対して独立して責任を負います。
- ルール、インターフェース、パートナー プログラム、および新しい Smart Cycles は、エコシステムの成長に応じて進化する可能性があります
- 参加すると資金の全部または一部が失われる可能性があります

この立場は、Executive Summary に記載されている経済的機会と矛盾するものではありません。 Atlas System は、Smart Cycle の計算されたパラメータ、可能な delta、キャリアラダー、およびパートナーのメカニズムを示す場合があります。これは、参加者はリスクだけでなく、参加の経済的意味も理解する必要があるためです。ただし、そのようなパラメーターは結果を保証するものではなく、計算されたモデルとして解釈される必要があります。

Atlas System の場合、参加者が自己欺瞞なく決定を下すことが特に重要です。銀行保証、投資契約、規制された金融商品、またはチームによる損失補償の義務を期待している人には、Atlas System は適していません。オープンなルール、計算されたパラメーター、自発的な参加を備えた高リスクの Web3 相互扶助モデルが目の前にあることを理解している人は、そのシステムが自分の個人的なリスク プロファイルに一致するかどうかを独立して評価できます。

このように、Atlas System は収益を保証するツールではなく、自発的な相互融資のプラットフォームとして位置付けられています。このシステムの意味は、透明性のあるルール、独立した検証、意図的な参加、デジタル相互扶助のアイデアを中心としたコミュニティの発展にあります。



9. ビジョン

9。ビジョン

Atlas System は、高収益のオンライン プロジェクト業界の形式自体を変える試みとして作成されました。この市場では、追加の財務機会、強力なパートナーチームの構築、国際的な動き、わかりやすい経済に対する強い需要が長年にわたってありました。しかしこれに伴い、人々は伝説、閉鎖的なモデル、大胆な約束、人為的な法的パッケージ、そして参加者がどのように構成されたのかを理解するよりも早く消滅するプロジェクトに飽きてきました。

Atlas System のビジョンは、単に別の Smart Cycle を立ち上げることではありません。より広範な課題は、参加者が事前にゲームのルールを理解し、計算されたモデルを確認し、リスクを研究し、アーキテクチャを検証し、目の前に銀行商品や投資が保証されているという幻想を抱かずに意思決定を行える国際的な Web3 エコシステムを構築することです。

Atlas Systemは、誠実で理解しやすい枠組みを提供します。Smart Cycleは、自発的な相互資金提供による高リスクモデルです。算定Deltaは経済的なシナリオを示すもので、結果を保証するものではありません。パートナープログラムはコミュニティの発展を支援しますが、参加を給与や不労所得に変えるものではありません。DAOに着想を得た仕組みは個別のコミュニティ意思決定に利用される場合がありますが、Atlas Systemは現行バージョンが完全にDAOとして分散化されているとは主張しません。

高収益のオンライン プロジェクト業界がさらに発展したいのであれば、より成熟したコミュニケーション モデルが必要です。参加者は不可能なことを約束される必要はありません。彼らには、メカニズム、計算された機会、限界、技術的アーキテクチャ、管理権限、リスク、ルールを正直に示す必要があります。 Atlas System が標準にしようとしているのはまさにこのアプローチです。難しい場所を隠すのではなく、入る前に説明するのです。

一般の参加者にとって、Atlas System の価値は、Smart Cycle、インターフェイス、ドキュメント、トレーニング、ウェビナー、検証可能なデータ、国際コミュニティへのわかりやすいアクセスにあるかもしれません。リーダーにとって、その価値はより広いものになる可能性があります。Atlas System は、別のプロジェクトが終了するたびに毎回ゼロから始めるのではなく、新しいサイクル、新しい製品、新しいルール、新しいレベルの参加が現れる可能性があるエコシステム内でチームを構築する機会を提供します。

これはチームビルディングにとって特に重要です。古いモデルでは、リーダーは多くの場合、単一の短いプロジェクトを中心に構造を構築します。プロジェクトが終了すると、組織は崩壊し、信頼は失われ、リーダーは再び新しい場所を探し、新しい伝説を説明し、再び人を集める必要に迫られます。 Atlas System は、1 回限りのプロジェクトではなく、リーダーシップの資金、トレーニング、資材、パートナーのインフラストラクチャ、コミュニティをサイクル間で維持できるエコシステムという、別の道を提供しようとしています。

このビジョンでは、Smart Cycle 1 は最初のコアであり、最終点ではありません。将来的には、新しい Smart Cycles、追加メカニズム、教育製品、国際ウェビナー、ローカル コミュニティ、分析ツール、投票要素、更新されたルール、新しい参加形式が開始される可能性があります。新しい各段階は、前の段階の経験、コミュニティからのフィードバック、リスクのより正確な理解に基づいて構築される必要があります。

Atlas System は、バズワードのためではなく、ウォレットの接続、トランザクションの検証可能性、スマートコントラクトのロジック、個々の業務の透明性、オープンなルール、国際コミュニティのデジタル インフラストラクチャなど、実際の利益のために Web3 ツールがどのように適用されるかを示す例になる可能性があります。同時に、Atlas System は、自動化がすでに機能している部分と、現在のバージョンで管理機能とチームの責任が残っている部分を正直に認めます。

Atlas System の長期的な目標は、デジタル相互扶助、透明なルール、自主的な選択という考えを中心に、志を同じくする人々からなる最大の国際コミュニティを形成することです。これは財務結果を約束するものではなく、またシステムの成功を保証するものでもありません。これは開発の方向性です。曖昧な約束を減らし、ルールをより理解しやすくします。1 回限りの打ち上げが減り、長期的なインフラストラクチャが増えます。盲目的な信念が減り、より独立した検証が可能になります。

この原則を堅持することで、Atlas System は市場の単なるプロジェクトではなく、新しい形式になります。リスクを理解し、チャンスを見出し、相互支援の国際的な Web3 コミュニティの構築に参加したいと考える人々のための、オープンで厳密で誠実で技術的に有能なエコシステムです。

